地方独立行政法人神奈川県立病院機構
精神医療センター

平成27年度

精神医療センター業務年報

平成28年11月

目　　次

Ⅰ　概　　況

1　基 本 理 念 …… 1

2　沿　　革 …… 1

3　組織・機構 …… 3

4　職員配置状況 …… 6

5　施　　設 …… 8

　　施設配置図 …… 9

6　主な委員会・会議一覧 …… 10

7　主な研修実績 …… 11

Ⅱ　精神医療センター事務事業の状況

1　精神医療センター基本方針 …… 13

2　経理の状況

　　財務諸表 …… 14

3　業務実績

(1)　各種指標 …… 17

4　患者の状況

(1)　外来患者の状況 …… 18

(2)　入退院患者の状況 …… 20

(3)　救急医療の状況 …… 26

5　業務の状況

(1)　看　　護 …… 27

(2)　作業療法（OT） …… 39

(3)　デイ・ケア療法 …… 42

(4)　検査業務 …… 47

(5)　福祉医療相談科業務 …… 51

(6)　薬剤業務 …… 60

(7)　医療教育 …… 62

(8)　栄養管理科業務 …… 62

(9)　保育業務 …… 65

（注）　本年報の表は原則として平成27年３月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

Ⅰ　概　　況

１　基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します。

２　沿　　革

当センターは精神病院法に基づくわが国３番目の府県立精神病院として昭和４年３月から診療を開始した芹香院と、昭和38年４月、全国に先駆け、麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後、神経症、アルコール依存症、薬物中毒者の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成２年４月に神奈川県立精神医療センターとして改組した。（名称も芹香病院、せりがや病院に改称。）

平成26年12月両院を統合し、323床（許可病床）を有する新しい「神奈川県立精神医療センター」として開院した。

開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

【芹　香　院】

昭和３年11月	本館及び病棟５棟　付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
４年３月	診療開始（150床）
35年７月	第１、第２病棟完成（作業療法棟2,207.05㎡）
39年４月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
46年８月	子供預り施設新築
11月	Ｃ病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年１月	Ａ病棟、Ｂ病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
３月	温室及び看護婦宿舎新築
６月	作業療法棟改築
７月	事務局に医事課を新設
８月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年７月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年３月	Ａ、Ｂ、Ｃ各病棟の２、３階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	Ａ3病棟を開棟
55年８月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長（総務課長兼務）新設
56年７月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場（27アール）整備工事完成
57年１月	身体障害者用便所、管理診療棟１箇所、Ａ病棟１箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年９月	デイ・ケア施設改修
62年４月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年３月	保護室（６室）、静養室（16室）改修
２年１月	保護室（８室）改修

【せりがや園】

昭和38年１月	本館新設（サーモコン２階建）
３月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
４月	診療開始（70床）
39年４月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年７月	本館増築工事等
	病棟、管理部門の改修
52年４月	病床数（64床）変更

【精神医療センター】

平成２年４月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置
	せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
９月	せりがや病院新築（80床）
３年４月	芹香病院Ａ1病棟を老人性痴保専門治療病棟（44床）に改修
	芹香病院Ｂ3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
４年４月	芹香病院Ｂ2病棟保護室（４室）改修
５年２月	せりがや病院　基準看護結核・精神特２類承認
３月	芹香病院　基準看護結核・精神特２類承認
６年３月	看護婦共同宿舎、看護士宿舎、職員公舎一戸解体
	芹香病院Ｃ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10月	芹香病院、せりがや病院新看護体系３：１承認
７年３月	芹香病院Ｂ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
	Ｃ棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
７年５月	せりがや病院　特別管理給食加算（適時適温給食）実施
８年３月	芹香病院Ａ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
	芹香病院Ａ2病棟に感染症隔離室（２室）設置
	芹香病院Ａ3病棟に救急用保護室（４室）、静養室（３室）設置
８年４月	芹香病院病床数（497床）変更
	芹香病院　精神科救急医療開始
	選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎３戸解体
12年７月	芹香病院　特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12月	第１医療職員公舎解体
14年４月	芹香病院　精神科救急医療　24時間体制開始（８床）
15年４月	芹香病院　精神科　救急病棟開設（Ｂ－１病棟　26床）
	芹香病院　病床数（445床）変更
15年９月	芹香病院　応急入院指定病院（１床）

平成15年10月　芹香病院　精神科急性期治療病棟（Ｂ1）入院科１適用承認
芹香病院　紹介患者加算５実施
16年４月　芹香病院　精神科救急入院科（Ｂ1病棟26床）適用承認
芹香病院　精神科救急入院施設管理加算（Ａ1病棟を除く）適用承認
芹香病院　医療保護入院等診療科適用承認
せりがや病院　医療保護入院等診療科適用承認
芹香病院　褥瘡患者管理加算適用承認
６月　芹香病院　療養環境加算（Ａ1・Ｂ2病棟）適用承認
９月　芹香病院　夜間勤務等看護加算（Ａ1病棟）
17年４月　地方公営企業法全部適用
精神医療センターの組織再編成　看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称
12月　芹香病院　日本医療機能評価機構認定病院となる
せりがや病院　日本医療機能評価機構認定病院となる
18年１月　芹香病院　診療録管理体制加算
せりがや病院　診療録管理体制加算
４月　芹香病院　15対１精神病棟入院基本料（Ａ1病棟及びＢ1病棟を除く）
芹香病院　老人性認知症疾患治療病棟入院料１（Ａ1病棟）
芹香病院　医療安全対策加算
芹香病院　臨床研修病院入院診療加算
芹香病院　栄養管理実施加算
せりがや病院　15対１精神病棟入院基本料
せりがや病院　栄養管理実施加算
８月　芹香病院　精神科ショート・ケア「大規模なもの」
９月　芹香病院　指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
せりがや病院　指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
12月　芹香病院　特定病院認定
19年５月　芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料２適用承認
８月　せりがや病院　精神科作業療法適用承認
20年３月　芹香病院　老人性認知症専門病棟（Ａ1病棟）閉床
芹香病院　生活訓練・短期静養病棟（Ｃ1病棟）閉床
４月　芹香病院　ストレスケア病棟（Ａ2病棟）開床
芹香病院　精神科地域移行実施加算
８月　芹香病院　看護補助加算１
21年２月　芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料２（Ａ2・Ｂ2病棟）
４月　芹香病院　精神科救急入院料２（Ｂ1・Ｂ2病棟）
芹香病院　通院対象者社会復帰連携体制強化加算
６月　せりがや病院　褥瘡患者管理加算

平成21年９月　芹香病院　病床数（308床）変更

22年２月　芹香病院　医療観察法指定入院医療機関の指定（２床）

芹香病院　入院対象者入院医学管理料

４月　地方独立行政法人へ移行

５月　芹香病院　救急医療管理加算

せりがや病院　重度アルコール依存症管理加算

６月　芹香病院　精神科救急入院料１（Ｂ1、Ｂ2病棟）

７月　芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料１（Ａ2病棟）

12月　芹香病院　精神科身体合併症管理加算

せりがや病院　精神科身体合併症管理加算

せりがや病院　13対１精神科病棟入院基本料

23年１月　芹香病院　作業療法棟及び社会療法棟の撤去

９月　芹香病院　医療観察法病棟の建設工事を開始

24年２月　芹香病院精神科一般病棟（Ｃ3病棟）休床

４月　芹香病院精神科救急搬送患者地域連携紹介加算

芹香病院治療抵抗性統合失調症治療指導管理料

11月　医療観察法病棟（Ｆ病棟）の開棟（33床）

新精神医療センター本館の建設工事を開始

26年３月　せりがや病院　１階病棟　休床

４月　せりがや病院精神保健福祉士配置加算

芹香病院精神科急性期医師配置加算（A2病棟）

12月　精神医療センター本館開設、芹香病院・せりがや病院統合（323床）

思春期病棟開設

既存棟除却工事を開始

コンピューター断層撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型の機器による場合）

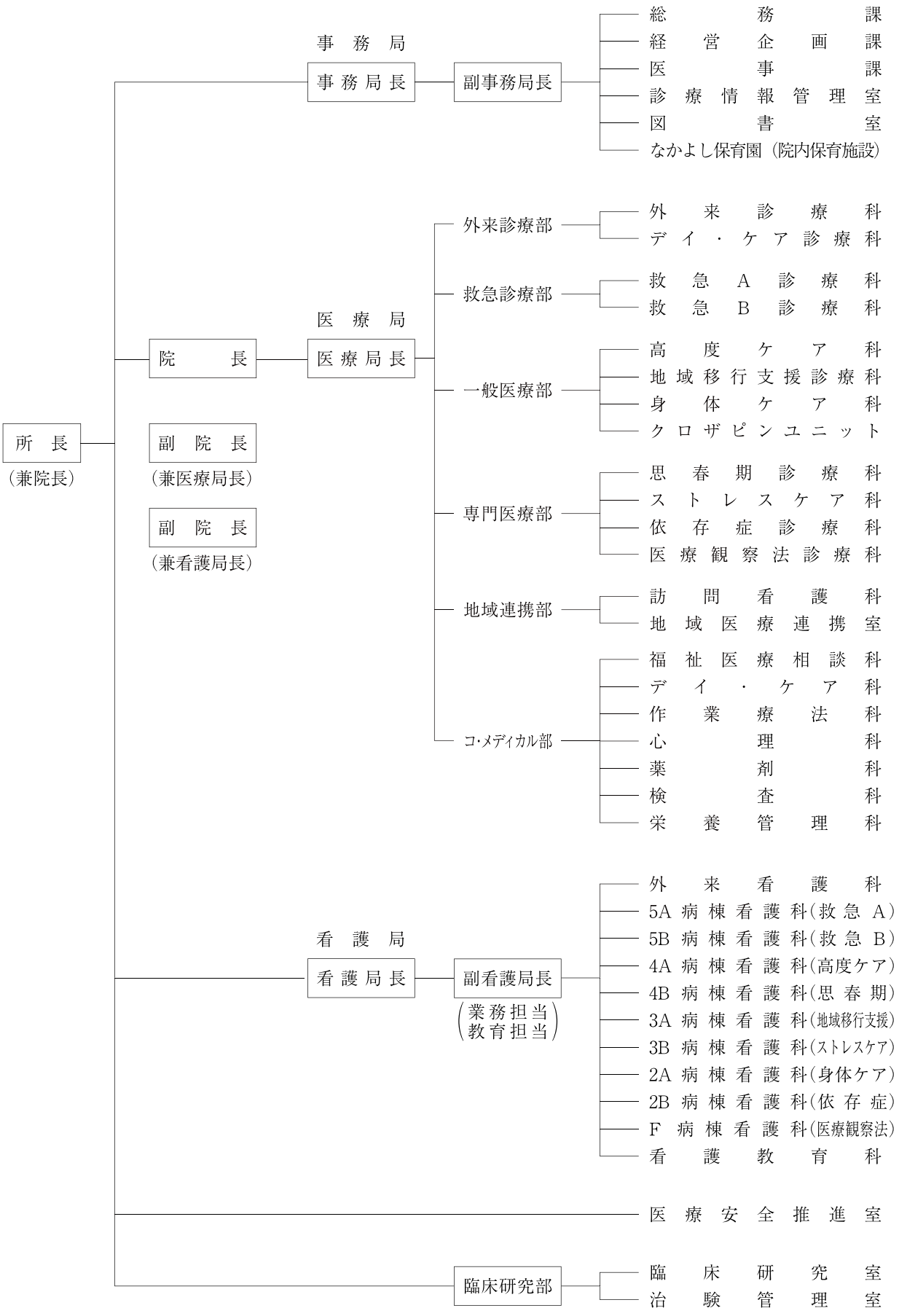
ニコチン依存症管理料

27年１月　児童・思春期精神科入院医療管理料（4Ｂ病棟）

強度行動障害入院医療管理加算（4Ｂ病棟）

11月　既存棟除却工事完了

3　組織・機構（H28. 4. 1現在）



４　職員配置状況（H28. 4. 1現在）

所属＼職	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再雇用職員	契約職員	任期付職員
所長		1		1				
院長		(1)		(1)				
副院長		2		2				
事務局				0				
事務局長	1			1				
副事務局長	1			1				
総務課	6			6	4		2	
経営企画課	6			6			2	
医事課	5			5	2		1	
小計	19	3	0	22	6	0	5	0
医療局長		(1)		(1)				
診療科		24		24	28			2
作業療法科		8		8				
デイ・ケア科	3	3		6	1			
心理科	7			7	2			
福祉医療相談科	12			12	2		1	
地域連携室	1	1		2				
訪問看護科		3		3		1		
検査科				0	1			
薬剤科		5		5				
栄養管理科		2	15	17	15		2	
看護局長		(1)		(1)				
副看護局長等		2		2				
看護局		236	3	239	10	8	10	
医療安全室		1		1				
小計	23	285	18	326	59	9	13	2
計	42	288	18	348	65	9	18	2

（注）（　）は兼務

職種別内訳（H28. 4. 1現在）

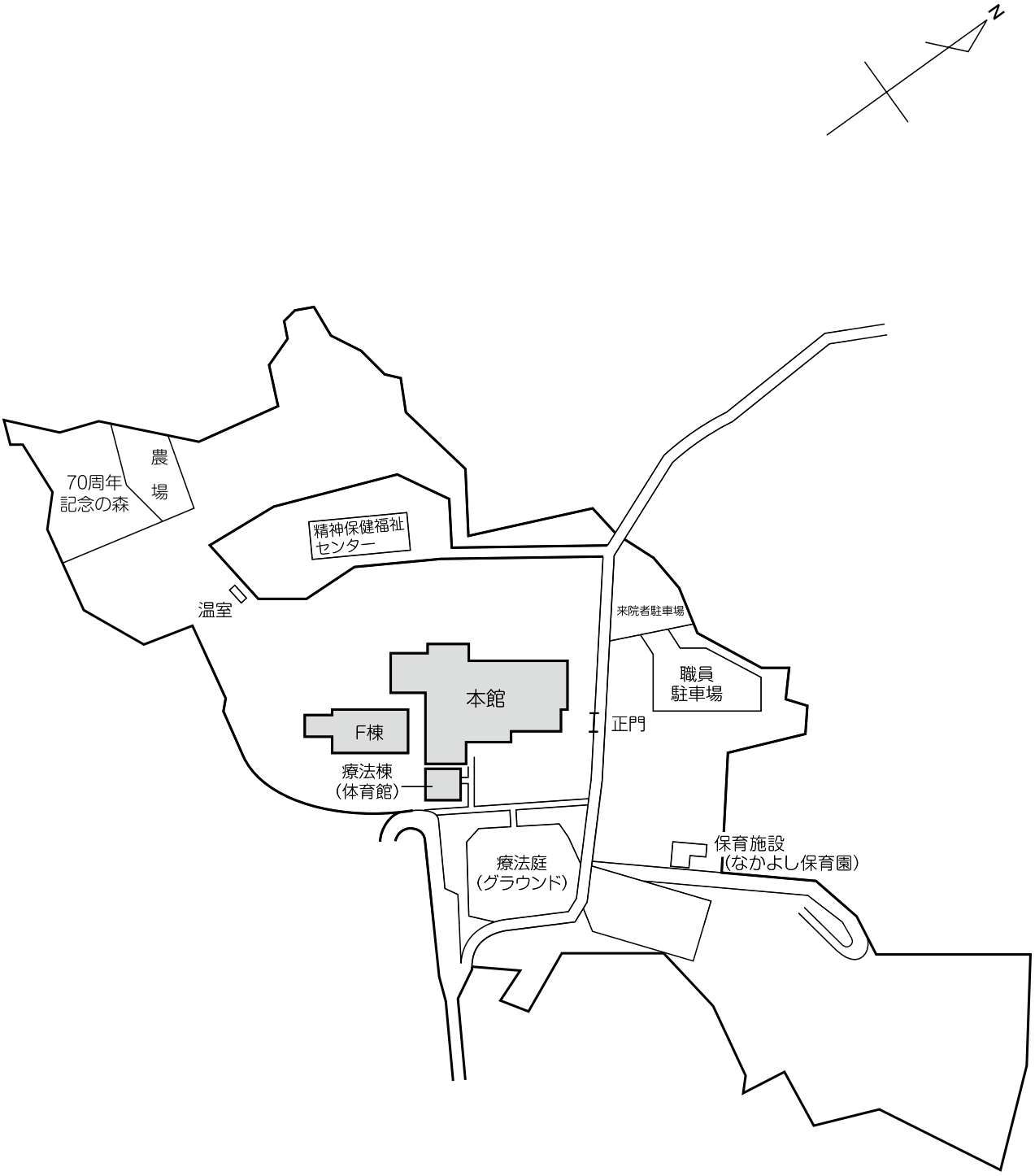
職種＼所属		所長	事務局	医療局	看護局	計
一般事務職			19			19
栄養士				2		2
調理職				15		15
医師		1		25		26
福祉職	ソーシャルワーカー			14		14
	臨床心理士			9		9
作業療法士				10		10
薬剤師				5		5
看護職			1	5	239	245
病棟技能職					3	3
総数		1	20	85	242	348

５　施　　設

【神奈川県立精神医療センター】

土　　地			117,175.010㎡
建　　物			（延べ面積）
本　　館		鉄筋コンクリート造　地上５階建	18,462.53㎡
療　法　棟		鉄骨造　平屋建	543.86㎡
営　繕　棟		鉄骨造　平屋建	59.81㎡
渡り廊下（Ａ）		アルミニウム造　平屋建	0　㎡
渡り廊下（Ｂ）		アルミニウム造　平屋建	0　㎡
ポ　ン　プ　室		コンクリートブロック造　平屋建	14.37㎡
医療観察等病棟		鉄筋コンクリート造　地上２階建	2,998.75㎡
庇		鉄骨造　平屋建	0　㎡
倉　　庫		鉄筋コンクリート造　平屋建	21　㎡
（防災倉庫）		鉄筋コンクリート造　平屋建	43.21㎡
渡り廊下（Ｄ）		鉄骨造　平屋建	0　㎡
渡り廊下（Ｅ）		鉄骨造　平屋建	0　㎡
農機具庫（Ａ）		鉄骨造　平屋建	1.75㎡
農機具庫（Ｂ）		鉄骨造　平屋建	1.75㎡
用　具　庫		鉄骨造　平屋建	1.26㎡
計			22,148.29㎡

施設配置図


N
農場
70周年
記念の森
精神保健福祉
センター
温室
来院者駐車場
職員
駐車場
本館
F棟
正門
療法棟
(体育館)
保育施設
(なかよし保育園)
療法庭
(グラウンド)

６　主な委員会・会議一覧（H28. 4. 1現在）

委員会・会議	目　　的	所管課（科）	構成員数	開　催　日
管理者会議	センターの運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	7人	月２回（第１・第３月）
経営会議	センターの経営改善の推進に必要な事項の検討	医事課	28人	月１回（第４火）
診療情報部会	センターのカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事課	7人	月１回（第２火）
運営協議会	センターの人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年１回
倫理委員会	センターで行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	9人	随時
機種等選定会議	備品購入又は委託等に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な選定	経営企画課	7人	随時
工事発注方法審査会議	工事の発注方法等の審査の実施	経営企画課	5人	随時
教育研修会議	医療人材の教育･研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	16人	隔月
運営調整会議	センターの運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	28人	月１回（第１火）
感染防止対策会議	センターの院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	医療安全推進室	19人	月１回（第４火）
医療事故防止対策会議	センターの医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	医療安全推進室	21人	月１回（第１火）
栄養・給食会議	センターの栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	24人	年４回
薬事会議	センターの医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬剤科	8人	年４回
衛生委員会	センターの職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	8人	月１回（第１月）
看護科長会議	センターの看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	15人	月３回（第１・第２・第４水）

７　主な研修実績

月	研　修	担　当	開催日	テーマ	講　師	参加者数
４月	新採用・転入職員研修	看護局・(総務課)	４月１・２・６・７・８日（５日間）	別紙参照		26名
５月	CVPPP研修会	行動制限評価会議	５月29日	CVPPP	12名CVPPPレーナー	43名
６月	感染防止研修①	感染防止対策会議	７月15日	身近な感染症の潜伏期間～流行性ウイルス感染症～	則座久美　感染認定看護師	390名（当日90名＋伝達300名）
７月	医療事故防止研修会	事故防止対策会議	９月２日	医療事故調査制度の基礎知識を学ぶ	内嶋順一弁護士	395名（当日131名＋伝達264名）
９月	接遇研修	教育研修会議	10月29日	接遇研修	白石看護科長 伊藤看護科長 泉谷看護科長 白石事務局員	61名
10月	研究発表会１回目	教育研修会議	10月21日	研究発表会		78名
11月	講演会	教育研修会議	11月９日	ファシリティドックの活動	森田ハンドラー ベイリー	57名
11月	救急蘇生	教育研修会議	11月26日	救急時の初期対応 AEDの使用方法	がんセンター 鎌田　佳子集中ケア認定 循環器呼吸器病センター 石山　都集中ケア認定	43名
12月	研究発表会２回目	教育研修会議	12月９日	研究発表会		81名
平成28年１月	医療安全フォーラム ・感染防止研修② ・医療安全研修② ・医薬品安全管理研修	教育研修会議	１月26日～28日	安全で安心な医療提供	医療安全管理者 医療安全推進室 看護科長代理会議 ICT 環境感染会議 看護安全防災会議	424名
２月	所長・事務局長講話	看護科長会議	２月８日	拡大科長会議講話	岩井所長 福寿事務局長	37名
２月	衛生委員会研修	衛生委員会	２月26日	労働安全衛生と職場のメンタルヘルスについて	伊藤　恵理子部長	43名

Ⅱ　精神医療センター事務事業の状況

１　精神医療センター基本方針

１　神奈川県の精神科中核病院として、高度な医療を提供します。

○精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携します。

○依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の４つの分野で専門的な医療を提供します。

○先進的な医療に関する臨床研究や、神奈川県の医療の将来を担う人材育成に取り組みます。

２　患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。

○患者さん参加のもとで治療計画を考え、多職種チームで支援します。

○インフォームド・コンセントを徹底し、患者さんの意思決定を尊重します。

３　みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。

○積極的な情報公開に努め、透明性の高い安全な医療を提供します。

○患者さんやご家族とともに、安心して医療を受けられる療養環境を築きます。

４　地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。

○必要な入院をスムーズに受け入れるとともに、早期退院を目指して計画的な援助を行います。

○関係機関との連携を密にし、在宅の患者さんの地域生活を支援します。

○関係機関と連携し、地域における精神保健活動に協力します。

５　県立病院として健全な経営を目指します。

○効率的で効果的な経営のあり方を追求し、自立した病院経営に努力します。

2　経理の状況

(1)　財務諸表

(ア)　貸　借　対　照　表

（平成28年３月31日）

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構精神医療センター】　（単位：円）

科　目	金　額			
資産の部				
Ⅰ　固定資産				
１　有形固定資産				
土地		8,690,000,000		
建物	6,955,290,673			
減価償却累計額	△ 583,638,430	6,371,652,243		
構築物	305,927,186			
減価償却累計額	△ 19,642,961	286,284,225		
器械備品	896,166,771			
減価償却累計額	△ 242,000,875	654,165,896		
車両	571,692			
減価償却累計額	△ 202,135	369,557		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		7,576,000		
有形固定資産合計		**16,010,047,921**		
２　無形固定資産				
ソフトウェア		65,777,336		
電話加入権		25,000		
その他		0		
無形固定資産合計		**65,802,336**		
３　投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		297,107,382		
長期前払費用		0		
破産更生債権等	18,771,026			
貸倒引当金	△ 18,771,026	0		
その他		962,000		
投資その他の資産合計		**298,069,382**		
固定資産合計			**16,373,919,639**	
Ⅱ　流動資産				
現金及び預金		322,866,658		
医業未収金	514,196,854			
貸倒引当金	△ 3,611,505	510,585,349		
未収金		22,382,531		
たな卸資産		11,962,770		
前払費用		0		
その他		532,905		
流動資産合計			**868,330,213**	
資産合計				**17,242,249,852**

（単位：円）

科　　目	金　　額			
負債の部				
Ⅰ　固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費負担金	421,617,507			
資産見返補助金等	1,482,240,327			
資産見返寄附金	684,101			
資産見返物品受贈額	12,382,672			
建設仮勘定見返運営費負担金	1,010,186	1,917,934,793		
長期借入金		5,278,560,000		
移行前地方債償還債務		159,544,000		
長期未払金		0		
引当金				
退職給付引当金	1,978,458,831			
環境対策引当金	0	1,978,458,831		
リース債務		167,556,800		
資産除去債務		16,824,928		
固定負債合計			**9,518,879,352**	
Ⅱ　流動負債				
寄附金債務		1,003,194		
一年以内返済予定長期借入金		116,250,000		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		53,182,000		
未払金		404,889,137		
一年以内支払予定リース債務		50,422,800		
未払費用		57,104		
前受金		600		
預り金		12,371,567		
引当金				
賞与引当金	210,224,694	210,224,694		
流動負債合計			**848,401,096**	
負債合計				**10,367,280,448**
純資産の部				
Ⅰ　資本金				
設立団体出資金		8,479,386,081		
資本金合計			**8,479,386,081**	
Ⅱ　資本剰余金				
資本剰余金		50,344,000		
資本剰余金合計			**50,344,000**	
Ⅲ　繰越欠損金				
当期未処理損失		△ 1,654,760,677		
（うち当期総損失）		（△ 319,391,722）		
繰越欠損金合計			**△ 1,654,760,677**	
純資産合計				**6,874,969,404**
負債純資産合計				**17,242,249,852**

(イ) 損　益　計　算　書

（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構精神医療センター】　　（単位：円）

科　目	金　額		
営　業　収　益			
医業収益			
入院収益	2,599,678,032		
外来収益	358,105,783		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	30,144,427		
保険等査定減	△ 1,527,990	2,986,400,252	
運営費負担金収益		1,853,276,000	
補助金等収益		36,990,156	
寄附金収益		999,051	
資産見返運営費負担金戻入		23,367,500	
資産見返補助金等戻入		82,322,160	
資産見返寄附金戻入		149,566	
資産見返物品受贈額戻入		491,275	
営　業　収　益　合　計			**4,983,995,960**
営　業　費　用			
医業費用			
給与費	3,346,877,757		
材料費	254,856,669		
減価償却費	422,702,208		
経費	606,523,191		
研究研修費	6,392,269		
児童福祉施設費	0	4,637,352,094	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		73,602,771	
資産に係る控除対象外消費税等償却		16,471,803	
その他営業費用		925,900	
営　業　費　用　合　計			**4,728,352,568**
営　業　損　失			**255,643,392**
営　業　外　収　益			
運営費負担金収益		36,260,000	
不用品売却収益		13,600	
財務収益		2,935	
雑益		12,203,395	
営　業　外　収　益　合　計			**48,479,930**
営　業　外　費　用			
財務費用		71,260,434	
雑支出		2,073,866	
営　業　外　費　用　合　計			**73,334,300**
経　常　損　失			**230,789,022**
臨　時　利　益			
資産見返物品受贈額戻入		136,500	**136,500**
臨　時　損　失			
固定資産除却損		496,086,230	
その他臨時損失		54,231,014	**550,317,244**
当　期　純　損　失			**△ 319,391,722**
当　期　総　損　失			**△ 319,391,722**

3　業務実績

(1)　各種指標

項　　目	計　算　方　式	単位	平成27年度	平成26年度	対前年度比(%)	備　　考
病　　床　　数		床	323	323	100.0	
取　扱　患　者　数		人	154,741	121,596	127.3	
入　　院　　患　者		人	104,443	83,296	125.4	
外　　来　　患　者		人	50,298	38,300	131.3	
1日平均取扱患者数		人	492.4	385.2	127.8	
入　　院　　患　者	取扱入院患者数／年間日数	人	285.4	228.2	125.1	
外　　来　　患　者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	207.0	157.0	131.8	
病　床　利　用　率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	88.3	72.9	121.1	
平　均　在　院　日　数	入院延患者数／｛(入院患者数＋退院患者数)×0.5｝	日	104.2	119.9	86.9	
入院外来患者比率	取扱外来患者数／取扱入院患者数×100	%	48.2	46.0	104.8	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医　　師	取扱患者数／医師延人数	人	15.1	12.3	122.8	
看　　護　　師	取扱患者数／看護師延人数	人	1.8	1.5	120.0	
職　　員　　数		人	343	337	101.8	期末人数
医　　師		人	28	27	103.7	期末人数
看　　護　　師		人	238	228	104.4	期末人数
そ　の　他　職　員		人	77	82	93.9	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数／病床数×100	人	106.2	104.3	101.8	
医　　師	職員数／病床数×100	人	8.7	8.4	103.6	
看　　護　　師	職員数／病床数×100	人	73.7	70.6	104.4	
そ　の　他　職　員	職員数／病床数×100	人	23.8	25.4	93.7	
患者1人当たりの収益						
入　　院　　患　者	入院収益／取扱患者数	円	24,887	25,082	99.2	
外　　来　　患　者	外来収益／取扱患者数	円	7,098	7,733	91.8	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医　　師	医業収益／医師延人数	円	291,413	243,401	119.7	
看　　護　　師	医業収益／看護師延人数	円	34,284	28,823	118.9	
患者1人当たりの費用	医業費用／取扱患者数	円	29,968	34,007	88.1	
患者1人当たりの薬品費	薬品費／取扱患者数	円	1,101	1,294	85.1	
入院患者1人当たりの給食材料費	給食材料費／取扱入院患者数	円	704	756	93.1	
医業収益に対する費用比率	医業費用／医業収益×100	%	155.3	172.4	90.1	
給　　与　　費	給与費／医業収益×100	%	112.1	125.6	89.3	
材　　料　　費	材料費／医業収益×100	%	8.5	9.7	87.6	
経　　費	経費／医業収益×100	%	20.3	21.8	93.1	

4　患者の状況

(1)　外来患者の状況

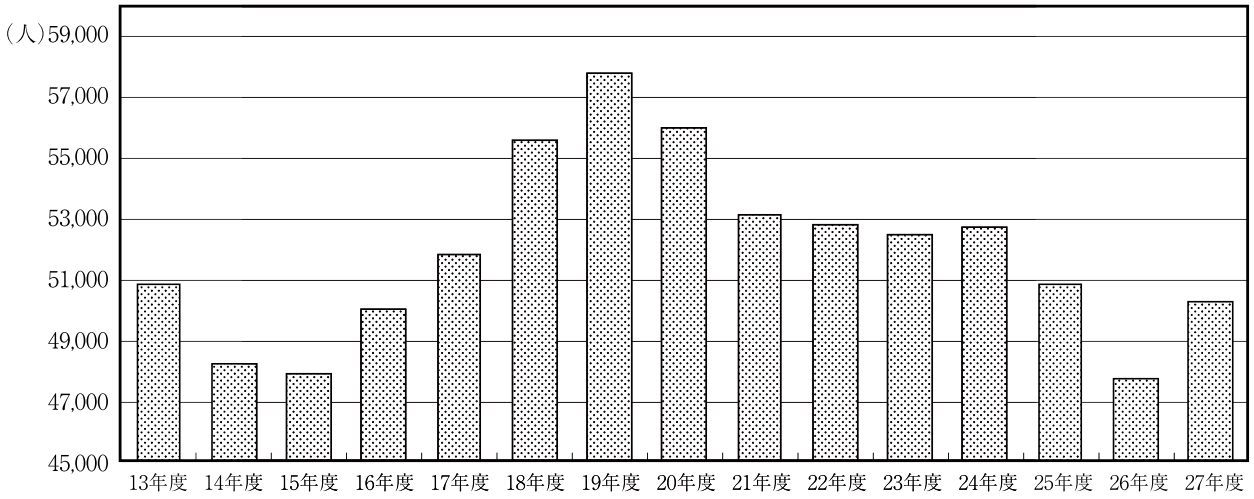
延患者数では2,588人増で対前年度比5.4％増となっている。また、新患については179人増の対前年度比13.7％増となっている。

ア　月別外来患者数

年度＼月 / 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
27	新　患	120	120	133	133	90	117	121	112	131	133	152	123	1,485
	再　来	4,195	3,701	4,016	4,239	3,802	3,967	4,216	3,882	3,985	3,976	4,123	4,711	48,813
	延患者数	4,315	3,821	4,149	4,372	3,892	4,084	4,337	3,994	4,116	4,109	4,275	4,834	50,298
	一日平均	205.5	212.3	188.6	198.7	185.3	214.9	206.5	210.2	216.6	216.3	213.8	219.7	207.0
26	新　患	92	95	105	129	94	86	107	85	130	120	114	149	1,306
	再　来	4,028	3,904	3,845	4,172	3,858	3,753	4,062	3,271	3,716	3,824	3,699	4,272	46,404
	延患者数	4,120	3,999	3,950	4,301	3,952	3,839	4,169	3,356	3,846	3,944	3,813	4,421	47,710
	一日平均	196.2	200.0	188.1	195.5	188.2	192.0	189.5	186.4	202.4	207.6	200.7	201.0	195.5

（注）精神科のほか、内科･歯科受診者を含む

イ　外来患者数の年次推移状況



ウ　病類別新外来患者数

年度＼病類(ICD) / 区分		脳器質性精神障害(F0)		中毒性精神障害(F1)			統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害									
27	男	2	2	198	84	9	126	147	68	0	14	13	2	25	690
	女	1	1	63	27	12	146	147	90	4	19	3	0	20	533
	計	3	3	261	111	21	272	294	158	4	33	16	2	45	1,223
	構成比	0.2	0.2	21.3	9.1	1.7	22.2	24.0	12.9	0.3	2.7	1.3	0.2	3.7	100.0
26	男	0	4	140	61	49	94	98	42	1	9	1	1	10	510
	女	2	3	89	40	52	104	108	43	0	4	6	1	9	461
	計	2	7	229	101	101	198	206	85	1	13	7	2	19	971
	構成比	0.2	0.7	23.6	10.4	10.4	20.4	21.2	8.8	0.1	1.3	0.7	0.2	2.0	100.0

（注）新外来患者とは、精神科初診患者と６ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ　年齢別新外来患者数

年度	区分＼年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
27	男	68	80	118	189	144	58	33	690
	女	66	90	89	123	77	50	38	533
	計	134	170	207	312	221	108	71	1,223
	構成比	11.0	13.9	16.9	25.5	18.1	8.8	5.8	100.0
26	男	42	107	169	164	109	66	23	680
	女	27	71	100	89	65	25	23	400
	計	69	178	269	253	174	91	46	1,080
	構成比	6.4	16.5	24.9	23.4	16.1	8.4	4.3	100.0

オ　地域別実外来患者数

居住地域＼年度		27	26
横浜市		3,261	2,610
	鶴見区	98	70
	神奈川区	131	86
	西区	88	67
	中区	158	123
	南区	551	446
	港南区	566	463
	保土ケ谷区	214	181
	旭区	124	97
	磯子区	215	171
	金沢区	178	151
	港北区	82	64
	緑区	50	35
	戸塚区	382	321
	瀬谷区	68	57
	栄区	133	101
	泉区	140	110
	青葉区	50	39
	都筑区	33	28
川崎市		168	127
	川崎区	39	34
	幸区	27	21
	中原区	27	19
	高津区	27	17
	宮前区	15	11
	多摩区	20	15
	麻生区	13	10

居住地域＼年度		27	26
横須賀市		116	85
平塚市		36	25
鎌倉市		78	50
藤沢市		155	94
小田原市		18	13
茅ヶ崎市		61	41
逗子市		26	18
相模原市		45	16
三浦市		14	11
秦野市		11	6
厚木市		20	14
大和市		38	22
伊勢原市		9	5
海老名市		18	13
座間市		22	11
南足柄市		3	2
綾瀬市		9	7
三浦郡	葉山町	7	5
高座郡	寒川町	6	5
愛甲郡		4	1
	愛川町	3	1
	清川村	1	0
中郡		9	6
	大磯町	6	3
	二宮町	3	3

居住地域＼年度		27	26
足柄上郡		1	3
	中井町	0	1
	大井町	0	1
	松田町	0	0
	山北町	0	1
	開成町	1	0
足柄下郡		8	5
	箱根町	1	1
	真鶴町	1	1
	湯河原町	6	3
県内計		4,143	3,195
東京都		146	100
埼玉県		12	1
千葉県		7	4
群馬県		1	0
栃木県		18	13
山梨県		1	0
静岡県		1	0
茨城県		4	3
その他の県		26	21
県外計		216	142
住所不明		0	0
計		4,359	3,337

（注１）平成26年度の数は12月～３月のもの
（注２）新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

(2) 入退院患者の状況

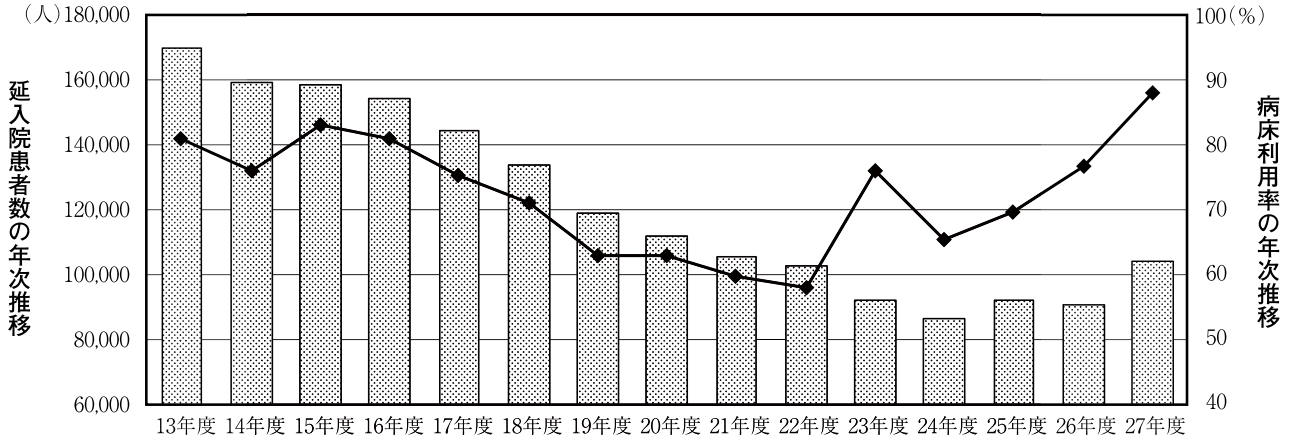
平成27年度は、延患者数104,443人で前年度と比べ13,694人増で対前年度比15.1％増となっている。病床利用率は88.3％で対前年度比13.2ポイントの増となっている。入院患者は前年度に比べ13.5％増となっている。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比0.5ポイント減、医療保護入院が6.2ポイント増、措置入院が5.8ポイント減、鑑定入院は0.2ポイント増となっている。また、医観法入院処遇が0.1ポイント増加している。

ア 月別入退院患者数

年度＼月 / 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
27	入院	78	83	85	88	72	82	77	81	95	80	105	88	1,014
	退院	73	78	81	76	82	80	89	90	77	64	106	94	990
	延患者数	8,125	8,571	8,632	9,075	9,103	8,369	8,815	8,143	8,642	9,139	8,505	9,324	104,443
	病床利用率	83.8	85.6	89.1	90.6	90.9	86.4	88.0	84.0	86.3	91.3	90.8	93.1	88.3
26	入院	56	71	76	78	60	65	78	68	93	86	79	83	893
	退院	76	64	66	75	66	75	72	92	58	70	70	91	875
	延患者数	7,359	7,415	7,424	7,585	7,611	7,233	7,298	7,003	7,350	8,149	7,692	8,630	90,749
	病床利用率	73.2	71.4	73.9	73.0	73.3	72.0	70.3	69.7	73.4	81.4	85.1	86.2	75.1

（注）月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



ウ 病類別新入院患者数

年度＼病類（ICD） / 区分		脳器質性精神障害（F0）		中毒性精神障害（F1）			統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害									
27	男	6	1	122	31	7	178	87	20	0	4	8	2	60	526
	女	2	0	47	20	6	183	104	41	3	10	0	1	71	488
	計	8	1	169	51	13	361	191	61	3	14	8	3	131	1,014
	構成比	0.8	0.1	16.7	5.0	1.3	35.6	18.8	6.0	0.3	1.4	0.8	0.3	12.9	100.0
26	男	1	1	127	23	60	183	82	16		2	2	1	3	501
	女		1	43	18	35	165	92	24		5		5	4	392
	計	1	2	170	41	95	348	174	40		7	2	6	7	893
	構成比	0.6	2.2	1.6	2.8	0.3	50.6	33.5	5.0		2.2			1.2	100.0

（注）新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

エ　病類別・年齢別入院患者数

年度	年齢	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	年齢構成比
27	19歳以下	男						32	2	11		2	4		8	59	
		女						31	2	19		0	0		8	60	11.7
		小　計						63	4	30		2	4		16	119	
	20～29歳	男			1	2	1	17	5	6	0	0			16	48	
		女			1	5	1	18	9	8	1	5			22	70	11.6
		小　計			2	7	2	35	14	14	1	5			38	118	
	30～39歳	男			20	10	2	29	14	2		1	1		10	89	
		女			11	8	2	25	19	5		2	0		12	84	17.1
		小　計			31	18	4	54	33	7		3	1		22	173	
	40～49歳	男			32	12	4	44	30	1	0	0	1		17	141	
		女			18	6	2	43	20	2	2	3	0		17	113	25.0
		小　計			50	18	6	87	50	3	2	3	1		34	254	
	50～59歳	男	1	1	38	7	0	28	20	0		1	2	0	7	105	
		女	0	0	16	1	1	27	24	2		0	0	1	7	79	18.1
		小　計	1	1	54	8	1	55	44	2		1	2	1	14	184	
	60～69歳	男			23			22	11	0					1	57	
		女			1			29	15	4					3	52	10.7
		小　計			24			51	26	4					4	109	
	70歳以上	男	5		8			6	5					2	1	27	
		女	2		0			10	15	1				0	2	30	5.6
		小　計	7		8			16	20	1				2	3	57	
	計	男	6	1	122	31	7	178	87	20	0	4	8	2	60	526	
		女	2	0	47	20	6	183	104	41	3	10	0	1	71	488	100.0
		計	8	1	169	51	13	361	191	61	3	14	8	3	131	1,014	
		構成比	0.8	0.1	16.7	5.0	1.3	35.6	18.8	6.0	0.3	1.4	0.8	0.3	12.9	100.0	

年度	年齢	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	年齢構成比
26	19歳以下	男					1	9	4	3		1	1		0	19	
		女					0	8	2	6		0	0		1	17	4.0
		小　計					1	17	6	9		1	1		1	36	
	20～29歳	男		1	3	2	24	18	7	2		0	1		0	58	
		女		0	3	4	14	14	11	2		1	0		1	50	12.1
		小　計		1	6	6	38	32	18	4		1	1		1	108	
	30～39歳	男		0	10	9	18	29	20	6		1			1	94	
		女		1	12	5	13	33	23	5		1			2	95	21.2
		小　計		1	22	14	31	62	43	11		2			3	189	
	40～49歳	男			38	10	13	62	20	3		0			1	147	
		女			14	4	7	53	16	6		2		2	0	104	28.1
		小　計			52	14	20	115	36	9		2		2	1	251	
	50～59歳	男			41	2	4	33	27	2				0	1	110	
		女			14	2	0	20	20	2				2	0	60	19.0
		小　計			55	4	4	53	47	4				2	1	170	
	60～69歳	男			32	0	0	23	4	0		0		1		60	
		女			0	3	1	27	9	3		1		0		44	11.6
		小　計			32	3	1	50	13	3		1		1		104	
	70歳以上	男	1		3			9	0					0		13	
		女	0		0			10	11					1		22	3.9
		小　計	1		3			19	11					1		35	
	計	男	1	1	127	23	60	183	82	16		2	2	1	3	501	
		女		1	43	18	35	165	92	24		5		5	4	392	100.0
		計	1	2	170	41	95	348	174	40		7	2	6	7	893	
		構成比	0.1	0.2	19.0	4.6	10.6	39.0	19.5	4.5		0.8	0.2	0.7	0.8	100.0	

オ　地域別実入院患者数

居住地域＼年度	27	26
横浜市	746	504
鶴見区	30	18
神奈川区	45	25
西区	20	10
中区	51	27
南区	94	72
港南区	118	80
保土ケ谷区	45	37
旭区	37	15
磯子区	53	29
金沢区	37	26
港北区	25	21
緑区	14	7
戸塚区	78	50
瀬谷区	20	19
栄区	24	22
泉区	27	24
青葉区	18	14
都筑区	10	8
川崎市	61	43
川崎区	14	4
幸区	10	3
中原区	9	9
高津区	9	9
宮前区	2	6
多摩区	9	11
麻生区	8	1

居住地域＼年度	27	26
横須賀市	32	23
平塚市	12	7
鎌倉市	22	5
藤沢市	48	22
小田原市	3	2
茅ヶ崎市	23	12
逗子市	8	2
相模原市	26	18
三浦市	4	2
秦野市	7	5
厚木市	10	4
大和市	12	8
伊勢原市	4	4
海老名市	2	6
座間市	7	3
南足柄市	0	0
綾瀬市	2	1
三浦郡　葉山町	0	2
高座郡　寒川町	2	1
愛甲郡	1	1
愛川町	0	1
清川村	1	0
中郡	5	5
大磯町	3	2
二宮町	2	3

居住地域＼年度	27	26
足柄上郡	0	1
中井町	0	0
大井町	0	0
松田町	0	0
山北町	0	0
開成町	0	1
足柄下郡	3	1
箱根町	1	0
真鶴町	0	0
湯河原町	2	1
県内計	1,040	682
東京都	43	18
埼玉県	2	3
千葉県	3	3
茨城県	3	2
群馬県	0	0
栃木県	1	0
静岡県	6	1
その他の県	18	6
県外計	76	33
住所不明	0	3
計	1,116	718

カ　入院費負担区分別患者数（平成28年３月末現在在院患者一覧表）

年度＼負担区分／区分	健康保険法 本人	健康保険法 家族	国民健康保険法	生活保護法	精神保健福祉法	感染症法（第37条）	自費	その他	計
27 男	17	12	77	31	6		1	20	164
27 女	5	21	57	26	4		0	12	125
27 計	22	33	134	57	10		1	32	289
27 構成比	7.6	11.4	46.4	19.7	3.5		0.3	11.1	100.0
26 男	20	13	86	30	2		0	21	172
26 女		15	47	19	1		1	10	93
26 計	20	28	133	49	3		1	31	265
26 構成比	7.5	10.6	50.2	18.5	1.1		0.4	11.7	100.0

（注）本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ　入院形態別患者数

年度	形態	区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
27	任　意	男	22	19	20	24	19	23	17	27	26	12	31	27	267
		女	27	23	21	20	18	19	24	12	20	22	21	19	246
		小　計	49	42	41	44	37	42	41	39	46	34	52	46	513
		構成比	62.8	50.6	48.2	50.0	51.4	51.2	50.0	48.1	48.4	42.5	49.5	52.3	50.6
	医療保護	男	8	19	17	13	15	17	14	10	15	14	17	14	173
		女	12	6	17	20	12	9	12	21	19	18	20	15	181
		小　計	20	25	34	33	27	26	26	31	34	32	37	29	354
		構成比	25.6	30.1	40.0	37.5	37.5	31.7	33.8	38.3	35.8	40.0	35.2	33.0	34.9
	措　置	男	3	6	5	4	5	7	2	4	7	6	8	6	63
		女	4	9	4	3	2	4	4	5	6	4	4	5	54
		小　計	7	15	9	7	7	11	6	9	13	10	12	11	117
		構成比	8.2	17.6	10.6	8.2	8.2	12.9	7.1	10.6	15.3	11.8	14.1	12.5	11.5
	鑑　定	男	1									1			2
		女				1									1
		小　計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
		構成比	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.3
	医観法特例措置	男							1	1	1		1		4
		女						1							1
		小　計	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	5
		構成比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0	0.5
	医観法入院処遇	男				1		1	1		1	1	2	1	8
		女		1					1					1	3
		小　計	0	1	0	1	0	1	2	0	1	1	2	2	11
		構成比	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	2.5	0.0	1.2	1.2	2.5	2.5	1.1
	臨床研究	男	1		1	1	1	1	1			2	1		9
		女				1				1					2
		小　計	1	0	1	2	1	1	1	1	0	2	1	0	11
		構成比	1.2	0.0	1.2	2.5	1.2	1.2	1.2	1.2	0.0	2.5	1.2	0.0	1.1
	計	男	35	44	43	43	40	49	36	42	50	36	60	48	526
		女	43	39	42	45	32	33	41	39	45	44	45	40	488
		計	78	83	85	88	72	82	77	81	95	80	105	88	1,014
26	任　意	男	15	27	24	26	18	23	25	27	22	29	28	26	290
		女	15	16	18	20	16	16	14	15	28	20	18	22	218
		小　計	30	43	42	46	34	39	39	42	50	49	46	48	508
		構成比	53.6	60.6	55.3	59.0	56.7	60.0	50.0	61.8	53.8	57.0	58.2	57.8	56.9
	医療保護	男	8	6	11	12	6	4	9	11	16	15	12	9	119
		女	12	8	12	7	7	10	12	3	16	9	12	11	119
		小　計	20	14	23	19	13	14	21	14	32	24	24	20	238
		構成比	35.7	19.7	30.3	24.4	21.7	21.5	26.9	20.6	34.4	27.9	30.4	24.1	26.7
	措　置	男	2	8	6	9	8	7	11	8	3	7	3	9	81
		女	2	5	4	2	4	3	4	4	5	5	4	3	45
		小　計	4	13	10	11	12	10	15	12	8	12	7	12	126
		構成比	7.1	18.3	13.2	14.1	20.0	15.4	19.2	17.6	8.6	14.0	8.9	14.5	14.1
	鑑　定	男	1								1				2
		女													0
		小　計	1							0					1
		構成比	1.8							0.0					0.1
	医観法特例措置	男													
		女													
		小　計													
		構成比													
	医観法入院処遇	男				1		1			1		1	1	5
		女		1				1	1		1			1	5
		小　計	0	1	0			2	1	0	2	0	1	2	9
		構成比	0.0	1.4	0.0			3.1	1.3	0.0	2.2	0.0	1.3	2.4	1.0
	臨床研究	男	1		1							1	1		4
		女				1	1		2					1	5
		小　計	1			1	1	0	2			1	1	1	8
		構成比	1.8			1.3	1.7	0.0	2.6			1.2	1.3	1.2	0.9
	計	男	27	41	42	48	32	35	45	46	43	52	45	45	501
		女	29	30	34	30	28	30	33	22	50	34	34	38	392
		計	56	71	76	78	60	65	78	68	93	86	79	83	893

ク　病類別・在院期間別在院患者数

年度	期間	区分＼病類(ICD)	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
27	1年未満	男		1	21	5	0	44	12	2		0	1	1	17	104	
		女		0	6	5	1	43	19	6		2	0	0	19	101	70.9
		小　計		1	27	10	1	87	31	8		2	1	1	36	205	
	1～2年	男			1			26	0							27	
		女			0			7	2							9	12.5
		小　計			1			33	2							36	
	3～4年	男		1	0			6	1							8	
		女		0	1			3	0							4	4.2
		小　計		1	1			9	1							12	
	5～9年	男						8								8	
		女						6								6	4.8
		小　計						14								14	
	10～19年	男						13	1							14	
		女						3	0							3	5.9
		小　計						16	1							17	
	20～29年	男						3								3	
		女						2								2	1.7
		小　計						5								5	
	30年以上	男														0	
		女														0	0.0
		小　計														0	
	計	男	0	2	22	5	0	100	14	2	0	0	1	1	17	164	
		女	0	0	7	5	1	64	21	6	0	2	0	0	19	125	100.0
		計	0	2	29	10	1	164	35	8	0	2	1	1	36	289	
		構成比	0.0	0.7	10.0	3.5	0.3	56.7	12.1	2.8	0.0	0.7	0.3	0.3	12.5	100.0	

年度	期間	区分＼病類(ICD)	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
26	1年未満	男	1		21	2	2	55	18	1			1		2	103	
		女			7	3		33	13	7		1		3	1	68	64.5
		小　計	1		28	5	2	88	31	8		1	1	3	3	171	
	1～2年	男		1		1	1	32	1							36	
		女						9								9	17.0
		小　計		1		1	1	41	1							45	
	3～4年	男						7								7	
		女					1	3								4	4.2
		小　計					1	10								11	
	5～9年	男						7								7	
		女						6								6	4.9
		小　計						13								13	
	10～19年	男						14	1							15	
		女						4								4	7.2
		小　計						18	1							19	
	20～29年	男						3								3	
		女						2								2	1.9
		小　計						5								5	
	30年以上	男						1								1	
		女														0	0.4
		小　計						1								1	
	計	男	1	1	21	3	3	119	20	1		0	1	0	2	172	
		女	0	0	7	3	1	57	13	7		1	0	3	1	93	100.0
		計	1	1	28	6	4	176	33	8		1	1	3	3	265	
		構成比	0.4	0.4	10.6	2.3	1.5	66.4	12.5	3.0		0.4	0.4	1.1	1.1	100.0	

ケ　病類別・転帰別退院患者数

年度	転帰	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
27	全快	男															
		女															
		小計															
	軽快	男		2	96	20	25	150	84	22			11		30	440	
		女		0	43	14	20	133	80	63			9		41	403	85.2
		小計		2	139	34	45	283	164	85			20		71	843	
	未治	男			13		5	2	1	0					1	22	
		女			6		6	0	0	3					1	16	3.8
		小計			19		11	2	1	3					2	38	
	転医	男			13	1	10	5	13	3			1		3	49	
		女			3	0	3	7	10	3			1		4	31	8.1
		小計			16	1	13	12	23	6			2		7	80	
	死亡	男						4								4	
		女						0								0	0.4
		小計						4								4	
	鑑定終了	男						2								2	
		女						1								1	0.3
		小計						3								3	
	医観法入院処遇終了	男					2	6					0			8	
		女					0	2					1			3	1.1
		小計					2	8					1			11	
	臨研終了	男							7	0						7	
		女							3	1						4	1.1
		小計							10	1						11	
	計	男		2	122	21	42	169	105	25			12		34	532	
		女		0	52	14	29	143	93	70			11		46	458	100.0
		計		2	174	35	71	312	198	95			23		80	990	
		構成比		0.2	17.6	3.5	7.2	31.5	20.0	9.6			2.3		8.1	100.0	

年度	転帰	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
26	全快	男															
		女															
		小計															
	軽快	男			89	15	35	111	36	14			7		18	325	
		女			31	14	21	129	74	19					15	303	71.8
		小計			120	29	56	240	110	33			7		33	628	
	未治	男			17	7	15	1	4							44	
		女			9	1	14	3	5	2						34	8.9
		小計			26	8	29	4	9	2						78	
	転医	男			23	6	5	46	7	1			2		3	93	
		女			5	2	2	35	5	5			1		3	58	17.3
		小計			28	8	7	81	12	6			3		6	151	
	死亡	男			1			2								3	
		女			0			3								3	0.7
		小計			1			5								6	
	鑑定終了	男						1							1	2	
		女						0							0	0	0.2
		小計						1							1	2	
	医観法入院処遇終了	男															
		女															0.0
		小計															
	臨研終了	男					1		5							6	
		女					0		4							4	1.1
		小計					1		9							10	
	計	男			130	28	56	161	52	15			9		22	473	
		女			45	17	37	170	88	26			1		18	402	100.0
		計			175	45	93	331	140	41			10		40	875	
		構成比			20.0	5.1	10.6	37.8	16.0	4.7			1.1		4.6	100.0	

コ　病類別・在院期間別退院患者数（27年度）

期間	区分	脳器質性精神障害（F0） 老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0） その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1） アルコール	中毒性精神障害（F1） 覚醒剤	中毒性精神障害（F1） その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	構成比
1年未満	男		2	122	18	42	148	103	25			12		34	506	
	女		0	52	14	29	138	93	70			9		46	451	96.7
	小計		2	174	32	71	286	196	95			21		80	957	
1～2年	男					2	13	2				0			17	
	女					0	3	0				1			4	2.1
	小計					2	16	2				1			21	
3～4年	男					1	3								4	
	女					0	0								0	0.4
	小計					1	3								4	
5～9年	男						1								1	
	女						2								2	0.3
	小計						3								3	
10～19年	男						2					0			2	
	女						0					1			1	0.3
	小計						2					1			3	
20～29年	男						1								1	
	女						0								0	0.1
	小計						1								1	
30年以上	男						1								1	
	女						0								0	0.1
	小計						1								1	
計	男		2	122	18	45	169	105	25			12		34	532	
	女		0	52	14	29	143	93	70			11		46	458	
	計		2	174	32	74	312	198	95			23		80	990	100.0
	構成比		0.2	17.6	3.2	7.5	31.5	20.0	9.6			2.3		8.1	100.0	

(3)　救急医療の状況

年度	区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
27	取扱件数	(16)	(17)	(15)	(15)	(12)	(17)	(12)	(16)	(21)	(20)	(20)	(19)	(200)
		23	21	22	22	17	23	19	20	24	30	26	23	270
	入　院	(10)	(15)	(12)	(11)	(11)	(13)	(8)	(12)	(19)	(14)	(18)	(16)	(159)
		10	17	15	12	15	14	11	12	20	18	20	17	181
	外来処置	(6)	(2)	(3)	(4)	(1)	(4)	(4)	(4)	(2)	(6)	(2)	(3)	(41)
		13	4	7	10	2	9	8	8	4	12	6	6	89
26	取扱件数	(10)	(18)	(17)	(15)	(17)	(16)	(21)	(14)	(16)	(18)	(12)	(20)	(194)
		12	22	21	17	20	19	24	18	23	21	16	29	242
	入　院	(9)	(17)	(17)	(14)	(17)	(12)	(19)	(14)	(12)	(16)	(11)	(15)	(173)
		11	19	19	15	18	12	20	17	14	16	12	17	190
	外来処置	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(4)	(2)	(0)	(4)	(2)	(1)	(5)	(21)
		1	3	2	2	2	7	4	1	9	5	4	12	52

（注）（　）は、精神保健診察件数で内数

５　業務の状況

⑴　看　護

平成27年度看護局目標評価

看護局ミッション：患者さんに寄り添い、自己決定･自立を支援し、患者さんと共に可能性にチャレンジします。

看護局ビジョン：１．患者さんやご家族の尊厳および人権を尊重し、患者さんの意思決定を支援します。

２．精神科看護の専門性を追求し、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護を提供します。

３．患者さんの社会生活を支えるため、チーム医療の推進者としての役割を発揮します。

４．看護の本質を追及し、誇りとやりがいを持てる人材を育成します。

看護局目標：　１．患者さん一人ひとりの思いを大切にし、患者さんが生活の目標を見だせるよう支援します。

２．各セクションの機能を確立し、適正、効率性を考えたセクション運営を行います。

３．お互いが協力し合える職場環境をつくります。

○すべては患者さんのために

Ⅰ　患者さん一人ひとりの思いを大切にし、患者さんが生活の目標を見だせるよう支援します。

【チームカンファレンスの実施】

初期カンファレンス・パスカンファレンスは100%実施した。患者・家族・地域を含む多職種カンファレンスの実施はセクションによる差異が見られた。多角的な視点で患者支援に活かせるよう、今後も推進していく。

【医療安全】

平成26年度の766件から平成27年度961件と増加しているが、新棟移転後１年目であり比較はできなかった。平成26年12月より報告システムが電子化され、レベル０報告を含めタイムリーな報告が推進された。内訳では内服薬に関連するものが348件と多く、レベル０は103件、レベル１は229件、レベル２は16件であった。定期薬の配薬セットを一部セクションを除き薬剤師が実施するよう業務改善を行った。

転倒事例でレベル3ｂが２件発生した。センサーマット、サイド・センサー、眠りスキャンの適正使用を推進するとともに、新たに患者向けに“転倒予防体操DVD”を作成した。今後はDVDを活用し各セクションで転倒予防体操に取り組んでいく。

【各種マニュアル・看護基準・手順の整備】

新棟移転後の運用に合わせ看護基準・手順の修正・追加を行った（24項目）。また、新棟移転後稼動した電子カルテシステムの操作マニュアルおよび記載手順を運用にあわせ、見直し・修正を行った。

【外来看護の充実】

対応困難患者や家族支援に活かすため、平成27年８月より精神科看護専門看護師（CNS）による看護外来を開始した。

○すべては組織のために

Ⅱ　各セクションの機能を確立し、適正、効率性を考えたセクション運営を行います。

【病床利用率の向上】

目標値90.1%に対し、７月、８月は目標値を達成したがその後４ヶ月間は80%台で推移した。ベッドコントロールの見直しを図り、看護師１名を含むベッドコントローラー３名体制を整備した。病棟間調整も推進され、１月以降は目標値を達成できた。

年間病床利用率

	2A	2B	3A	3B	4A	4B	5A	5B	F
目標値	91.0%	91.0%	91.0%	90.0%	91.0%	80.0%	90.0%	90.0%	95.0%
実績値	90.7%	89.5%	91.0%	87.9%	96.0%	74.2%	83.6%	90.4%	86.9%

【クロザリルコーディネーターの育成】

4A 病棟のクロザリルユニット化に向け、適切なケアが提供できるようクロザリルコーディネーター取得を推進した。

【サプライ物品の適正化】

サプライ管理状況のラウンドを７月・３月に実施した。効率を考えた衛生材料の適正管理ができるよう働きかけ、3月には改善が見られた。

○すべては私たちの元気のために

Ⅲ　お互いが協力し合える職場環境をつくります。

【クリニカルラダーステップアップ支援・】

申請者全員が各セクションでの支援を受け合格することができた。

	ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	ステップⅣ
参加人数	12 名	15 名	6 名	2 名

【よりよい職場風土の推進】

「互いを尊重して意見を交わす・風通しの良い職場環境」等、職員間のコミュニケーションに視点をあてた取り組みを行った。タイムリーな話し合い、カンファレンスの全員発言、アサーティブな対応等の効果が得られた。疾患の特性によるストレスフルな状況を踏まえ、「患者からの暴言暴力により生じた心の健康保持」を目的にメンタルサポートチームの立ち上げをおこなった。また､元気を引き出す看護局 NEWS の発刊等､職場環境を支える仕組み作りを行った。(看護職員の離職率は３％。)

特に新卒新採用看護職員に対し、看護教育科スタッフによる“10 分トーク”を年３回実施し、個別的な支援につなげることができた。(新卒新採用看護職員の離職率は０％。)

【ワーク・ライフ・バランスの推進】

業務上の安全を考慮しながら年休取得の推進や技能員の協働体制、看護師のリリーフ体制を整え、働きやすい職場作りに取り組んだ。看護科長業務検討グループ（働きやすい職場作り）では、看護師の病棟間リリーフ体制マニュアルを作成した。

精神医療センター

看護局概要

病院機能と看護職員配置（平成28年３月１日現在）

副院長兼看護局長　１名　　副看護局長（業務担当）１名
（教育担当）１名

病棟名	病 棟 機 能		病　床　数	看護科長	看護職員定数	病棟技能員
２Ａ	身体ケア	閉鎖病棟	35（準保護室 11） 結核病床（2）	1	21	3
２Ｂ	依存症	開放病棟	45（準保護室 7）	1	21	1
３Ａ	地域移行支援	閉鎖病棟	40（準保護室 6）	1	17	1
３Ｂ	ストレスケア	開放病棟	30（準保護室 3）	1	17	1
４Ａ	高度ケア	閉鎖病棟	40（保護室 6・準保護室 6）	1	25	1
４Ｂ	思春期	閉鎖病棟	45（保護室 1 ・準保護室 6）	1	21	1
５Ａ	救急	閉鎖病棟	30（保護室 10・準保護室 2）	1	32	1
５Ｂ	救急	閉鎖病棟	45（保護室 4・準保護室 5）	1	25	1
Ｆ	医療観察法病棟	閉鎖病棟	33	1	43	1
小　計			323（稼動病床数）	9	222	11
外　　来				1	10	1
医療安全推進室					1	
地域医療相談室					4	
デイ・ケア					1	
看護教育科					2	
看　護　局					3	
合　計			323	10	243	12

看護局活動

看護局ミッション

患者さんに寄り添い、自己決定・自立を支援し、患者さんと共に可能性にチャレンジします。

看護局ビジョン

１．患者さんやご家族の尊厳および人権を尊重し、患者さんの意思決定を支援します。
２．精神科看護の専門性を追求し、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護を提供します。
３．患者さんの社会生活を支えるため、チーム医療の推進者としての役割を発揮します。
４．看護の本質を追究し、誇りとやりがいを持てる人材を育成します。

看護局目標

１．患者さん一人ひとりの思いを大切にし、患者さんが生活の目標を見だせるよう支援します。
２．各セクションの機能を確立し、適正、効率性を考えたセクション運営を行います。
３．お互いが協力し合える職場環境をつくります。

平成27年度　院内教育研修実施状況

研修名		目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数	担　当
採用時	採用時研修	1. 精神医療センターの概要を理解し、組織・環境・業務への適応を図る 2. 専門職業人としての自覚を促す	4/1 -4/2(金) 4/6（月） -4/8(水)	5日間 8:30-17:15	・講義 ・演習 ・病院見学	平成27年度新採用者、転入者、前年度採用者、交流研修者他	25名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師6名
支援プログラム	基礎技術研修①（精神科看護技術）	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ	4/30(木)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・デモンストレーション ・演習	平成27年度新採用者その他看護科長が認めた者	25名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師3名
	基礎技術研修②（救急蘇生法）	看護者として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	6/18(木)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・シュミレーション ・演習	平成27年度新採用者その他看護科長が認めた者	24名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師4名 主任看護師1名
	フォローアップ研修（新卒新採用）	入職してからの３ヶ月を振り返り、今後の看護実践の活力につなげる	6/5（金）	4時間15分 13:00-17:15	・自然散策 ・GW	平成27年度新卒新採用者	8名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	フォローアップ研修（既卒・転入）	入職してからの様々な思いや看護を仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	6/1(月)	2時間15分 15:00-17:15	・自然散策 ・GW	平成27年度既卒新採用者及び平成26年度中途採用者	16名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ステップⅠ	看護倫理Ⅰ（看護専門職としての倫理）	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	5/22(金)	１時間45分 15:30-17:15	・講義	ステップⅠを申請するもの	14名 聴講 8名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			5/29(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW（WILL/CAN/MUST）			
	看護過程Ⅰ（看護理論の理解）	V. ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	7/28(火)	3時間15分 14:00-17:15	・講義（公開） ・オリエンテーション	ステップⅠを申請する者	12名 聴講 12名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			9/18(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW（ペーパーペーシェント）			教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
	チームメンバー研修	チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	12/1(火)	3時間45分 13:30-17:15	・リーダーと共に行動する。 ・講義「チームナーシングとは」 ・GW	ステップⅠを申請する者	13名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
ステップⅡ	看護倫理Ⅱ（精神科看護と倫理）	精神科看護における倫理的課題について理解する	7/14(火)	3時間45分 13:30-17:15	・講義（公開） ・GW	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	院内14名 聴講2名 院外10名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
	リーダーシップⅠ（チーム医療におけるリーダーシップ）	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う	9/15(火)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・GW（カード法） ・研修後セクション報告会	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	17名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
	看護過程Ⅱ（事例検討）	自己の看護を振り返り、個別性を踏まえた看護実践について考える	10/16(金)	各3時間45分 13:30-17:15	・GW（事例について考える）	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	14名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			12/4(金)					

	研修名	目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数	担　当
ステップⅢ	地域連携研修	社会の動向を知る・患者の地域での生活を知り実践に活かす	6/3(水)	1時間15分 16:00-17:15	オリエンテーション	ステップⅡ以上の者または看護科長が認める者	13名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			7/3(金)	2時間15分 15:00-17:15	・講義 ・ディスカッション			
			10/23(金)	7時間 9:00-17:15	・施設研修（１日）			
			12/2(水)	2時間 15:00-17:15	・GW			
	リーダーシップⅡ （問題解決）	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力を発揮した問題解決への取り組みができる	6/2(火)	各 3時間15分 14:00-17:15	・講義、GW	ステップⅡ以上の者または看護科長が認める者	15名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			7/21(火)		・GW（テーマ、計画の検討）			
			9/25(金)		・GW（取り組み経過の検討）			
			12/18(金)		・取り組み発表			
	看護過程Ⅲ （看護理論の活用①）	日々の看護実践おを振り返り情報や判断の根拠を論理的思考によって明らかにする能力を培う	7/17(金)	１時間15分 16:00-17:15	・講義「ケース・スタディを行う意味」	ステップⅡ以上の者または看護科長が認める者	18名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			10/2(金)	各 ３時間45分 13:30-17:15	・GW			
			11/24(火) 27(金)		・ケーススタディ発表			
ステップⅣ	看護過程Ⅳ （看護理論の活用②） *専門研修読み替え可	セルフケア理論（オレム－アンダーウッド看護論）の学習を通して精神看護についての理解を深める	10/5(月)	各 2時間15分 15:00-17:15	・講義	ステップⅢ以上の者または看護科長が認める者及び専門研修者	12名専門研修6名含む	
			11/20(金)		・GW（事例検討）			教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			1/22(金)		・事例発表会			
	教育指導研修	スタッフ教育ができる能力を養う	6/16(火)	各 3時間45分 13:30-17:15	・講義	ステップⅢ以上の者または看護科長が認める者	3名	
			9/7(月)		・GW（講義案の検討）			教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			12/7(月)	3時間15分 14:00-17:15	・講義の実施			
	看護研究	日常の課題を研究的視点で捉え探求のためのリーダーシップが取れる	4/21(火) ~2/6(土)	看護研究発表	・オリエンテーション ・看護研究基礎研修受講 ・外部講師より指導を受ける ・研究発表	ステップⅢ以上の者または看護科長が認める者	4名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ステップⅤ	教育活動	ポイント制　24年度以降の研修ポイントから適応する。 ＊累積50ポイントで申請ができる。教育活動・研究活動の双方は必ずポイントをとる。ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得する。				ステップⅣ以上の者または看護科長が認める者	0名	
	研究活動						1名	

研修名			目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数	担　当
役割研修	新主任研修		主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組める	4/10(金)	3時間30分 8:30-12:00	・シャドウイング	平成27年度新主任看護師	5名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
				4/13(月)	3時間15分 14:00-17:15	・講義 ・GW ・課題への取り組み			
	プリセプターⅠ		プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる	1/29(金)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・ロールプレイ	平成28年度プリセプター担当者	15名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	プリセプターⅡ		指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての関わりの方向性を明確にできる	6/11(木)	3時間45分 13:30-17:15	・GW（レポートをもとに討議）	平成27年度プリセプター担当者	18名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名 主任看護師1名
役割研修	実習指導者研修		実習指導者としての役割と関わりについて学習し、今後の指導の手がかりを得る	5/28(木)	1時間15分 16:00-17:15	・講義「看護学生の学びを支援する実習指導」	平成27年度実習指導者会議メンバー、または看護科長が認めた者	8名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
静脈注射研修	静脈注射の実際		医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	7/16・17 8/3・4 再試験 8/25	プログラムによる	・講義 ・演習 ・試験 （筆記、技術）	看護師が行う静脈注射プログラム規定による	17名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
精神専門研修	精神看護専門研修		精神看護の専門領域における実践能力を高め、質の高い看護を提供するために必要な能力の向上を図る	期間： 2年間	カリキュラムによる	平成27年度 ：講義 平成28年度 ：事例研究、 発表会	精神科看護経験4年間ある者、キャリア開発過程ステップⅢ以上の者	6名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
講演等	看護研究基礎研修		看護研究の基礎を理解し研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる	5/15(金)	1時間15分 16:00-17:15	・講義「看護研究のための基礎」	平成27年度看護研究に取り組む者		教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
				5/21(木)					
				6/22(月)	3時間45分 13:30-17:15	・AG1回目	看護研究に取り組んでいる者（個別指導） ※AG＝Aグループ BG＝Bグループ		
				6/23(火)		・BG1回目			
				9/29(火)		・AG2回目			
				10/6(水)		・BG2回目			
				12/14(月)		・AG3回目			
				12/15(火)		・BG3回目			
	公開講義	認定看護師が企画	精神科認定看護師セミナー ①　思春期病棟での100日間 ②　精神科の薬物療法について	10/7(水)	1時間40分 17:30-19:10	・公開講義 （精神科認定看護師による）	全看護職員 院外看護職員	61名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			精神科認定看護師セミナー ③　行動制限による二次的弊害について ④　誤嚥性肺炎の予防と早期発見の看護ケア	11/4(水)	1時間40分 17:30-19:10			36名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
		看護局企画	病院移転の実際を知り、新棟整備に向けての動機づけを図る	2/22(月)	2時間00分 7:00-19:00	・講義	全職員	32名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	看護研究発表会		看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	2/6(土)	3時間30分 9:00-12:30	・発表会	全看護職員	56名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	伝達講習会		院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする	3/11(金)	2時間00分 16:30 -18:30	・講習会	全看護職員	51名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名

平成27年度学会・院外研修参加状況

	主　催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
学会	日本精神科看護協会	第40回　日本精神科看護学術集会	福島	6/18～20	2
		第22回　日本精神科看護学会専門学会Ⅰ	京都	8/29・30	4
		第22回　日本精神科看護学会専門学会Ⅱ	山梨	11/11・12	4
	日本看護協会	第46回　日本看護学会　－精神看護－	大坂	9/18・19	1
		第46回　日本看護学会　－看護教育－	奈良	8/6・7	3
		第46回　日本看護学会　－看護管理－	福岡	9/8・9	3
	日本環境感染学会	第31回　日本環境感染学会総会	京都	2/19・20	1
	精神科救急学会	第23回　日本精神科救急学会	愛知	12/11・12	2
	日本うつ病学会	第12回　日本うつ病学会・ 第15回　日本認知療法学会	東京	7/17～19	2
	日本アディクション看護学会	第14回　日本アディクション看護学会学術集会総会	東京	9/5・6	2
	日本アディクション看護学会	アルコール薬物依存関連学会合同学術集会	兵庫	10/11～13	2
	日本看護協会	通常総会・全国職能別交流集会	兵庫	6/9～11	2
	日本児童青年精神医学会	第56回　日本児童青年精神医学会総会	横浜	9/29～10/1	1
研修	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 【精神保健に関する技術研修】	第13回　医療における包括型アウトリーチ研修	東京	9/1～4	1
		第３回　司法精神医学ワンデイセミナー	東京	9/5	2
		第17回　薬物依存臨床看護等研修	東京	9/8～11	3
		第１回　メンタルヘルス問題への初期対応指導者研修	東京	10/1～2	1
		第10回　司法精神医学研修	東京	10/27・28	2
		第12回　摂食障害看護研修	東京	11/4～6	1
		第７回　薬物依存症に対する認知行動療法研修	東京	11/9～11	2
		医療観察法医療従事者上級研修会コース２	東京	11/27～28	2
		第10回　犯罪被害者メンタルケア研修	東京	1/18～20	1
	認知行動療法センター	トラウマに対する認知処理療法研修	東京都	12/11・12	1
	全国自治体病院協議会	看護管理研修会	東京	8/19～21	1
		接遇トレーナー研修会	東京	8/5～7	2
		A群　はじめて学ぶKYT	県内	6/5	1
		A群　リーダーナースのためのフィジカルアセスメント（３年目以上）	県内	6/11・12	2
		A群　臨地実習指導者研修 （指導担当もしくは担当予定者）	県内	7/7・8	1
		B群　新人ナースのためのフィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメント	県内	10/19	1
		C群　ここが知りたい!転倒転落・誤薬の防止	県内	11/12	1
		C群　感染管理 －リンクナースのための活動支援研修－	県内	12/10～11	1
		認定看護管理者教育課程　セカンドレベル	県内	10/1～H28. 3/4	1
		医療安全管理者養成研修	県内	9月～10月（7日）	1
	日本精神科看護協会 （東京会場）	精神科ならでは　嚥下・口腔ケア・排泄ケア	東京	7/26・27	2
		水中毒の理解とケア	東京	7/12	1
		発達障害の理解とケア	東京	10/30	2
		パーソナリティ障害の理解とケア	東京	10/17	3
		アディクションの理解とケア	東京	11/29	1
		包括的暴力防止プログラムトレーナー養成研修会	東京	10/1～4	1

	主　　催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
研修	日本精神科看護協会 （神奈川県支部）	精神科初任者研修（精神科経験１～３年）	県内	6/8・9	21
		アンガーマネジメントの理解	県内	7/22	2
		依存症の理解と看護	県内	8/21	1
		成人の発達障害の看護	県内	9/8	5
		身体合併症看護	県内	11/18	3
		行動制限の看護	県内	12/9	1
		気分障害 －新型うつ・双極性障害－	県内	1/18	1
	よこはま看護専門学校	実習指導者研修会	県内	8/7	3
	横浜市病院協会看護専門学校	実習指導者研修会	県内	8/25	2
	神奈川県立病院機構本部	新採用職員研修	県内	4/3	23
		看護職員研修 専門Ⅰ	県内	6/22・7/6・7/25・9/7	3
		看護職員研修 専門Ⅱ	県内	6/4・9/9	3
		看護職員研修 管理Ⅰ	県内	5/12・6/1・6/5	5
			県内	6/30	
		看護職員研修 管理Ⅱ	県内	6/9・6/22・12/21	3
		看護職員研修 管理Ⅲ	県内	7/2・2016/1/29	5
	保健福祉大学実践教育センター	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	県内	4/25～9/25	1
		看護実習指導者講習会	県内	6/13～11/28	1
	国際医療福祉大学看護生涯学習センター	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	東京	9/26～H28. 3/5	1
	済生会横浜市東部病院	実習指導者養成講習会	県内	5/7～12/11	1
	北里大学看護キャリア開発・研究センター	実習指導者養成講習会	県内	5/29～H28.1/15	1
	地域生活支援ネットワークケアサポート	SST初級研修	県内	9/20～21	1
		SST初級研修	東京	11/21～22	2
	依存症施設見学	横浜ダルク・ケアセンター	県内	11/12	2
				合　計	158

平成27年度　講師派遣等実績

１．見学・実習（受け入れ）

項　　目	対　象　者	人　数	実　施　月
教員研修	看護学校教員	2名	平成28年３月７日～８日
病院研修	看護師	3名	平成27年８月・９月
認定看護管理者教育課程サードレベル	看護師	１名	平成27年８月
日本精神科看護協会 精神科認定看護師教育課程	看護師	２名	平成27年10～11月
神奈川県立保健福祉大学 保健医療福祉論Ⅰ・現場訪問	大学生	20名	平成27年８月
職場体験活動	大学生	２名	平成28年２月
県立病院機構交流研修	看護師	１名	平成27年５～10月
病院見学	看護学生･看護師	34名	平成27年４月～平成28年２月 ：21回
	養護教諭	45名	平成27年８月・11月 平成28年１月
インターンシップ（３月・７月・８月）	看護学生･看護師	39名	平成27年３月・平成27年７月・８月

２．講師派遣等実績

学　校　等	科　目　名	氏　　名
横浜中央病院付属看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ　８時間	中島しのぶ
	精神看護方法論Ⅱ　９時間	安藤　　馨
	看護研究発表会	池田　康子
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神看護方法論Ⅰ 治療・検査・症状のある人の看護　８時間	斉藤　充史
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神看護方法論Ⅰ　12時間	中満　千夏
	精神看護方法論Ⅰ　６時間	中居　　勝
神奈川県立よこはま看護専門学校	精神看護学Ⅲ　４時間	大場なつき
	ケーススタディ発表会	大場なつき 光井　怜美 吉川　和世
	卒業期技術演習	藤谷　健太
神奈川県立平塚看護専門学校	看護の統合Ⅰ	尾花由美子
神奈川県立保健福祉大学	看護の魅力に関する普及啓発事業 （オープンキャンパス）	臼居　　顕
	精神看護学Ⅱ	横溝　　奨
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 看護管理概論	尾花由美子
	実習指導者講習会　看護論	岸良　俊弘
	実習指導者講習会　実習指導の実際	佐藤　泰幸
北里大学大学院看護学研究科	精神看護学Ⅲ	石田　正人
東京医療保険大学	精神看護援助論	石田　正人
横浜市立芹が谷中学校	キャリア教育講演会	枡本　　明
神奈川県立中井やまゆり園	人権研修（身体拘束）	石田　正人
聖マリアンナ会 東横恵愛病院	看護研究における倫理	石田　正人
かながわ福祉サービス振興会	精神障碍者ホームヘルパー研修精神疾患の理解と対応	石田　正人
特定非営利活動法人 のびの会	第７回 夏のパーソナリティ障害講演会	安藤　　馨
神奈川県看護協会	看護管理Ⅱ看護師長に求められる看護管理　６時間	尾花由美子
	精神科訪問看護基本診療費算定要件研修	石田　正人
		井上　美紀
日本精神科看護協会	第40回 日本精神科看護学術集会シンポジウム	中谷　　将
	行動制限最小化の基本と実際の取り組み	
日本精神科看護協会神奈川県支部	精神科初任者研修	石田　正人
	気分障害の看護	安藤　　馨
	「こころの日」薬物乱用防止教育	小川　清子 黒田　明仁
日本アディクション看護学会	第14回 日本アデイクション看護学会 学術集会 シンポジウム	堀内恵美子
	第14回 日本アデイクション看護学会 学術集会 交流集会	堀内恵美子 山口二三子

学　校　等	科　目　名	氏　　名
日本アディクション看護学会　研修会	アルコール依存症　講義・事例検討会	山口二三子
	うつ病とアディクション 講義・事例検討会	安藤　　馨
精神科自治体病院協議会	10年後の精神医療について	石田　正人
精神科領域での感染制御を考える会	第３回 精神科感染制御セミナー	二瓶比呂志
神奈川県立病院機構	専門コースⅠ	長　　文枝
	専門コースⅡ	石田　正人
	管理コースⅠ	尾花由美子 山口　時雄
	管理コースⅡ	白石　礼子
	管理コースⅢ	嘉山　一壽
神奈川県立足柄上病院	精神疾患を患った患者・家族の理解	石田　正人
大塚製薬	第３回 クリニカルパス連携勉強会	石田　正人
	Recoveryを目指す会	

３．執　筆

掲　載　先	内　　容	氏　　名
精神看護，18巻５号， P506-509，2015．9	精神科看護学実習でウェルカムボードを導入し ています	石田　正人
精神科看護，43巻１号， P42-50，2015．12	BADO（患者基本記録）とは何か ～医療の質の向上への試みと今後の可能性～	

４．学会発表等

1　山口いずみ，石田正人：精神科看護師の知識伝授の方法～先輩看護師が新人看護師に講義を行うこと～，第46回日本看護学会―看護教育―，８月

2　光井怜美，石田正人：精神科救急におけるノートを使った関わりについて～思春期患者の思いやり言動を承認する～，日本精神科看護学術集会，８月

3　加藤充弘，石田正人：医療観察法における退院支援～入院後18ヶ月を越えた対象者への関わりを通して～，日本精神科看護学術集会誌，58巻２号，８月

4　青木麻梨，築詰健次郎，小澤篤嗣，瀬底正有，高木善史，森脇久視，中田雅子，石田正人，岩井一正：医療観察法病棟における入院患者の特性　J-BADO(日本語版患者基本記録)を用いた急性期病棟、重度慢性期病棟との比較，司法精神科医学学会，2015.10

5　大場なつき，石田正人：精神科病院におけるストレングスモデルに焦点をあてた支援～患者の語りを活かしてねがいを叶えるための関わり～，日本精神科看護学術集会誌，58巻３号，11月

6　中居勝，石田正人：統合失調症患者の意思決定への関わり～患者の治療参加をめざして～，日本精神科看護学術集会誌，58巻３号，11月

7　原隆子，石田正人，堀口忠，細野仁：精神科救急病棟における統合失調症患者への疾病教育の認識～退院支援に向けた看護師の役割～，第23回日本精神科救急学会学術総会誌，58巻３号，12月

8　堀内恵美子，井ノ口恵子，山口二三子：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program（SMARPP）-24，平成27年度アルコール薬物関連学会合同学術集会，10月

9　井ノ口恵子，堀内恵美子：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program（SMARPP）をデイケア

へ導入した実践報告，平成27年度アルコール薬物関連学会合同学術集会，10月

10　山田直美，前野紀子，鈴木由起枝，沢山ゆかり，片平紀子：精神科病院における看護業務量の可視化，第46日本看護学会―看護管理―，９月

５．交流研修実施状況

研　修　施　設	日　程	実施地	人　数
神奈川県立循環器呼吸器病センター	6/1～ 8/31	県内	1
	9/1～10/31	県内	1

６．薬物乱用防止教室における講師派遣

学　校　・　団　体	対　象　者	人　数（人）
高木学園女子高等学校	学生	180
	教員、保護者	12
麻生総合高校	学生	239
	教員	10
開成町保健福祉部福祉課	保護者	40
	教員	10
	自治会	40
横須賀市保護司会西支部	保護司	25
川崎市立有馬中学校	学生	278
	教員	15
横浜市立本郷中学校	学生・教員	500
大和市上和田中学校	学生	250
横浜市立芹が谷中学校	学生	117
鎌倉市立手広中学校	学生	92
神奈川立横浜栄高等学校	学生	280
大和市鶴間中学校	学生	280
神奈川県立横須賀工業高等学校	学生	228
横浜市立戸塚高等学校定時制	学生	330
藤沢市立村岡中学校	学生	115
小田原市立城南中学校	学生	68
小田原市立城山中学校	学生	210
横浜市立いづみ野中学校	学生	152
鎌倉市立中田中学校	学生	213
鎌倉市立玉縄中学校	学生	204

平成27年度　看護学校実習受け入れ実績（基礎教育）　神奈川県立精神医療センター

学校名		5月				6月					7月				8月					9月					10月					11月					12月					1月				2月					学校別年間実習生数	
各学校の希望日程・人数（斜線・下段は、調整了解済み）		4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	実人数（人）	延人数（人）
横浜市医師会看護専門学校（2年課程）	人数				5	5		5	5			5	5												4	4	5	5				4	4												28	224
	日数				8			8				8													8		8					8													48	
横浜市医師会看護専門学校（3年課程・2年生）	人数																																				10	10	10		10	10	10			20	240
	日数																																				12				12					24	
横浜市病院協会看護専門学校	人数		5	5		5	5			5	5		5	5					5	5		5	5																							30	220
	日数		8			7				8			7						8			6																							44	
横浜中央病院附属看護専門学校	人数												5	5						6	6							10	10																	21	167
	日数												9							7								8																		24	
県立衛生看護専門学校第一看護学科	人数		5	5					8	8										10	10																	1	1							24	195
	日数		9						9											7																		8								33	
県立衛生看護専門学校第二看護学科	人数						4	4		4	4											4	4					4	4																	16	124
	日数						8			8											7							8																		31	
県立衛生看護専門学校第二看護学科依存症見学(火～木・3日間)	人数					4	4		4											4				4			4																			24	76
	日数					3	3		3											4				3			3																			19	
県立よこはま看護専門学校	人数		10	10			10	10				7	7						5	5				8	8				9	9																49	475
	日数		10				10					9							10					9					10																	58	
県立保健福祉大学	人数						2	2	2														7	7	7	6	6	8	8	7	7	8	8	8	8											46	354
	日数						12																8		7		7		8		7		8													57	
東京衛生学園	人数																																								4・2					6	12
	日数																																								2・2					4	
聖母看護学校	人数																		15・15																											30	60
	日数																		2・2																											4	
国際メディカルテクノロジー	人数				2																																									2	4
	日数				2																																									2	
日本医療学園附属東亜看護学院2年課程（通信制）	人数																						2			2																				4	8
	日数																						2			2																				4	
合計人数		0	20	20	7	14	25	21	19	17	9	12	17	10	5	0	0	0	26	10	20	25	18	19	20	10	17	17	20	16	8	22	22	8	0	0	0	11	11	10	4	10	10	10	0	300	2159

病棟名（主な診療科目）		病床数		5月				6月					7月				8月					9月				10月				11月					12月				1月				2月					病棟別年間実習生数	
				4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	実数	延べ人数
病棟別実習生配置状況（週別実人数）	救急A(5A)	30	学生配置数		5	5		5	5	5	5	5	5	5	5					5		5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4				5	5	5	2					66	524
	救急B(5B)	40	学生配置数		5	5			5	5	4	4		4	4					5		5	6	6			4	4	4	4	5	5	4	4	4	4				5	5	5	2					57	498
	高度ケア(4A)	40	学生配置数		5	5			5	5	4	4		3	3	5	5				6・6			4	4	4	4		5	5	4	4		5	5				1	1		2	5	5	5		64	483
	地域移行(3A)	40	学生配置数		5	5	5	5	2	2	2				5	5					5・5			5	5	4	4			4	4			5	5								5	5	5		50	357
	身体ケア(2A)	35	学生配置数				2		4	4		4	4								4・4		5	5	3	3	2	2			3	3			4	4											35	213
	依存症(2B)	45	学生配置数					4	4		4											4		2	4	2		4																			28	84
実習生数	実人数（人）	合計実人数／週		0	20	20	7	14	25	21	19	17	9	12	17	10	5	0	0	0	26	10	20	25	18	19	20	10	17	17	20	16	8	22	22	8	0	0	0	11	11	10	6	10	10	10	0	300	
	延べ人数（人）	延べ人数／週間		0	95	90	24	52	106	94	80	68	36	55	68	40	20	0	0	0	105	45	92	50	77	80	76	52	67	60	112	73	24	88	88	32	0	0	0	40	40	40	16	40	40	40	0		
		延べ人数／月間		209				400					199				125					264				275				357					120				120				136						2159

⑵ 作業療法（OT）

当院の作業療法は、日常生活の回復を図り社会適応や自律を促すために様々なプログラムを実施している。作業療法科では安心していられる居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

・ADLおよびAPDL訓練を中心とした活動
・コミュニケーションおよび自己表現力を高める活動
・体力の維持・向上を目的とした活動
・共同作業を中心とした活動　　・生産的作業を中心とした活動
・レクリエーション活動　　・面接および相談

である。

平成26年度より始めた､作業療法士の病棟担当制や特別プログラムの毎月実施は継続し､今年度は５月から新たに『レッツ　トライ！』というプログラムを開始した。これは､「活動に触れてみる」「やってみる」ことに重きを置き、月に１つの活動をテーマとして提供し体験するプログラムである。太極拳、書道、音楽、軽体操などを取り上げ１年間に182名が参加した。その中でも、趣味・余暇活動の獲得の場を提供した“趣味空間　ふらっと”に最も参加者が多かった。

また、新しい試みとして少人数の疾患教育プログラム『スキルアップセミナー』を５Ａ・５B病棟対象に実施した。作業療法士の他に、臨床心理士、薬剤師の協力を得てテキストを作成しそれをもとに学習を進めている。

Ｆ病棟（医療観察法病棟）では11月より認知矯正療法を『シャッキリ‼ 脳力トレーニング』として開始した。このプログラムはパソコンを使ったトレーニングセッションと、そのセッションで強化した認知機能を日常生活に般化させるための言語セッションの２部構成となっている。作業療法士の他に臨床心理士、看護師と共同で運営し、週２回実施している。

なお、管理料に含まれているため４B病棟（思春期病棟）およびF病棟では精神科作業療法を算定していないが、参考値として以下のデータには組み込んでいる。

㋐ 患者受け入れ状況

a　OT実施人員

（単位：人）

区分／年度	実人員					
	新規		継続		計	
	男	女	男	女	男	女
27	581		169		750	
	294	287	112	57	406	344
26	377		137		514	
	212	165	73	64	285	229
対前年度比（%）	154.1		123.4		145.9	
	138.7	173.9	153.4	89.1	142.5	150.2

b　患者別受け入れ状況

区分／年度	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	F2 統合失調症	F3 気分（感情）障害	F4 神経症性障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格および行動の障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発達の障害	F9 特定不能の精神障害	G4 てんかん	計
27	9	243	255	151	53	4	10	12	7	6	0	750
26	4	103	259	122	15	0	5	0	3	2	1	514
対前年度比（%）	225.0	235.9	98.5	123.8	353.3	－	200.0	－	233.3	300.0	0.0	145.9

c　年齢別受け入れ状況

区分／年度	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
27	59	80	124	175	178	134	750	45.0
26	5	51	96	138	128	96	514	47.1
対前年度比（%）	1,180.0	156.9	129.2	126.8	139.1	139.6	145.9	

⑷　転　帰

区分／年度	継続	終了													中断	計
		就労・復職	就職活動・	作業所	自助グループ	デイ・ケア	保健生活教室所	家庭復帰	施設	単身アパート	転院	通作業療法院	援護寮・グループホーム	その他		
27	282	41	3	11	62	53	0	150	36	44	44	0	11	7	6	750
26	165	18	2	9	0	26	2	176	45	9	49	3	0	6	4	514
対前年度比（%）	170.9	227.8	150.0	122.2	－	203.8	0.0	85.2	80.0	488.9	89.8	0.0	－	116.7	150.0	145.9

⑷　プログラムの内容および実施状況

プログラム名	参加延人員（人）	（参考）前年度	内　　容
フリースペースB	698	1,123	ネット手芸、刺繍、編み物、認知機能トレーニングなど机上作業中心。
フリースペースA	614		種目はフリースペースBと同様であるが、より援助が必要な対象者が参加。
グループワークB	373	282	参加者の話し合いに基づきグループ活動（カラオケ、音楽鑑賞、ゲーム大会など）を行うほか、１年に３つ行事（七夕会、文化祭など）を企画・準備・運営する。
LiST	124	112	掃除、ゴミの分別、マナー、身だしなみなどの生活技能の学習と実技。
スポーツ	182	166	体育館やグラウンドで軽スポーツを行うグループ活動。
園芸	166	167	花や野菜類の栽培を実施。屋外で行うグループ活動。
のんびりスペース	270	228	病棟から出て落ち着いた時間を他者と共有することを目的としたプログラム。
レッツ　トライ！	182	－	１ヶ月に１つのテーマ（太極拳、パソコン、書道など）を取り上げ、作業体験する。
２A　病棟OT	983	807	軽体操と認知トレーニング、レクリエーション、季節行事などを行う。週２回実施。
２B　病棟OT	1,673	－	『ボディワーク』、『アート』（机上作業）、『SCOPⅡ』を各１回、週３回実施。
３A　病棟OT	1,626	1,385	軽体操と認知トレーニングを中心に、他レクリエーションなどを行う。週２回実施。
３B　病棟OT	1,061	931	『アート』（作品作り）、『エクササイズ』、『リラクセーション』を各１回、週３回実施。対象者がいる場合は『のびのび体操』（高齢者向け軽体操）を実施。

プログラム名	参加延人員（人）	（参考）前年度	内　　容
４Ａ　病棟OT	748	620	作品作りと認知トレーニング、音楽鑑賞、軽体操などを行う。週１回実施。
４Ｂ　病棟OT	513	－	個人作品作りとグループ活動を各１回、週２回実施。
５Ａ　病棟OT	485	434	『めざましプログラム』、『リラクセーション』、『からだづくり』を各1回、週3回実施。
５Ｂ　病棟OT	485	199	『リラクセーション』、『からだづくり』を各１回、週２回実施。
個別OT	57	3	対象者に合わせて体操や作品作り、認知機能トレーニングなどを実施。
特別プログラム	157	132	カラオケ、音楽鑑賞、映画鑑賞、お菓子作り、作品作りなどを実施。全病棟を参加対象としたプログラムで月1回実施。
パワーアップセミナー	31	34	疾患、服薬、感染、コミュニケーションなどのテーマを専門職種を講師として招き学習する。年に４回程度実施。
スキルアップセミナー	12	－	少人数で行う統合失調症に関する疾患教育。５Ａ・５B病棟にて実施。
面接	124	33	インテークや情報収集、再評価等の面接を実施。
デイケア体験	3	－	退院後デイケアへ通所する予定の対象者に対し、プログラム体験時に作業療法士が付き添う。
計	10,567	6,656	
医療観察法病棟	2,533	－	『シャッキリ!! 脳力トレーニング』を週２回、『ものづくり』『ガーデニング』『からだづくり』を週１回実施。他にIADLや創作などの個別OTや多職種での目的別プログラムを実施。

㈡　教育（見学・実習・講義）

ａ　見学・研修受入れ

年度＼区分		医療関係者	学　生（医師･看護師･PSW）	院　内		その他	計
				職　員	患　者		
27	件　数	5	92	1	1	2	101
	人　員	22	174	1	1	5	203
26	件　数	0	51	2	1	3	57
	人　員	0	91	2	1	8	102
対前年度比（％）	件　数	－	180.4	50.0	100.0	66.7	177.2
	人　員	－	191.2	50.0	100.0	62.5	199.0

ｂ　実習生の受け入れ

内　　容	対　　象	実　施　日	人　数
作業療法　臨床実習Ⅱ	帝京平成大学　健康メディカル部　作業療法科	平成28年２月22日～３月４日	1
作業療法　臨床実習Ⅰ	帝京平成大学　健康メディカル部　作業療法科	平成28年２月３日～２月５日	1

⑶ デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年６月から試行し、昭和61年４月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週５日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど心理教育的プログラムを中心に、茶道・華道など外部講師によるプログラムも取り入れ、利用者の要望に応えられるように多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、３時間程度のショート・ケアが新設された。当院デイ・ケアでも８月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

平成26年12月の新棟開棟に伴う外来リハビリテーションの再構築のため、平成25年11月からプログラムを再編成し、平成26年１月から外来作業療法患者のデイ・ケア移行を進めてきた。

新棟開棟直後の12月より依存症デイ・ケア（SMRAPP、SARPP）を開始し、平成27年10月からmini scopを各々週１日実施している。運営に当たっては、外来看護師と福祉医療相談科の精神保健福祉士が主体となって行っている。

平成27年１月からはリワークのデイ・ケアを開始し、週４日開催している。運営に当たっては、心理科・福祉医療相談科の協力を得ながら実施している。必要に応じて、職場との面接や就労定着支援を行っている。

訪問支援の実施としては、地域活動支援センター・生活訓練施設・就労移行支援事業所などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。

また退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っており、平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者も受け入れている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ･ケア連絡会の事務局補佐として、県内デイ･ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

ア　精神科デイ・ケア

㈠　月別参加者数

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（右：月平均）	
在籍者数		149	158	165	173	174	154	152	165	168	161	172	193	1,984	165
（うち入院）		8	8	10	14	9	9	10	13	9	7	6	7	110	9
（うち医療観察者法通院者）		9	9	9	9	8	8	7	6	6	7	7	7	92	8
延数	参加者延数	749	619	794	761	726	644	725	740	720	670	755	845	8,748	729
	（うち入院）	26	40	52	33	8	6	27	30	11	20	10	12	275	23
	（医療観察者法通院者）	47	35	48	31	29	22	26	16	21	19	21	29	344	29
	ショート延数	456	401	511	443	426	405	433	467	431	436	491	537	5,437	453
	（うちショート）	26	38	51	31	8	4	12	22	7	19	7	10	235	20
平均	参加者一日平均	34	34	36	35	35	34	35	39	36	35	38	37	427	36
	（うちショート）	21	22	23	20	20	21	21	25	22	23	25	23	266	22
実施日数		22	18	22	22	21	19	21	19	20	19	20	23	246	21

㈡　地域別参加者数

地域別／年度	横浜市																		横須賀市	鎌倉市	川崎市	相模原市	藤沢市	その他	合計
	鶴見区	西区	中区	南区	港南区	保土ケ谷区	旭区	磯子区	港北区	戸塚区	栄区	泉区	神奈川区	緑区	金沢区	都筑区	青葉区	小計							
平成27年度	3	2	7	41	46	9	2	21	4	28	5	3	6	2	8	0	2	189	3	2	2	1	3	4	204
平成26年度	3	3	5	35	43	8	2	18	5	24	4	3	7	0	7	2	1	170	2	0	0	0	2	2	176

㈢　年齢・病名別参加者数

病名／年齢・性別	19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以下			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害（F1）			0	1	2	3	5	1	6	8	2	10	3		3	17	5	22
統合失調症（F2）	1	4	5	17	14	31	21	7	28	31	26	57	14	9	23	84	60	144
気分（感情）障害（F3）			0	1	1	2	1	2	3	7	1	8	3	2	5	12	6	18
人格及び行動障害（F6）			0		5	5		1	1			0		1	1	0	7	7
精神遅滞（F7）			0	1	3	4			0	1		1			0	2	3	5
その他		1	1	1	1	2	1	2	3		2	2			0	2	6	8
計	1	5	6	21	26	47	28	13	41	47	31	78	20	12	32	117	87	204

㈠ プログラム統計

プログラム		小計	内容・目的
集団精神療法	全体ミーティング	17	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(忘年会委員会)	7	行事ごとに委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小　計	24	
職業前訓練	作　業	96	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労･作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	12	分担された係を体験していく中で就労･作業所などへの心構えや責任感を養っていく。
	社会復帰プラン	35	就労もしくは作業所などを目指すために準備性を高める。
	就労勉強会・就労講座	1	就労のイメージ作り、就労への準備性を高める、現実的な目標を見出す。
	小　計	144	
創作活動	創　作	110	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	9	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	ものつくりサークル	12	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	小　計	131	
日常生活指導	料　理・料理の買い物	32	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	生活クラブ	36	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小　計	68	
クラブ活動	グループ活動	5	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	71	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行なう
	小　計	76	
運動療法	スポーツ	41	チームプレーを通して協調性を養う､体力作り､身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む､準備､交流試合)	4	大会などの目標に向けてチームワークを体験する。他施設との交流会の準備･実施を行う。
	軽スポーツ	20	体力の維持、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	体力測定	1	現在の体力を把握し、事故の身体への意識を高める。
	小　計	66	
音楽療法	コーラス	22	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	3	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	コンサート	1	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
	小　計	26	
認知行動療法・心理教育他	健康・栄養講座（健診含む）	11	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	SST	33	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	21	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	23	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ
	統合失調療法	22	統合失調症の症状や対処法などの知識を身に付ける。
	認知行動療法	32	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育
	福祉講座	2	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	WRAP	12	自分が元気でいるための計画を立て、それを実践していく。
	ダイエット	23	肥満の健康上の問題を認識し､ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	小　計	179	
レクリエーション活動	パーティー、打上げ（含む、準備）	16	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出（含む、準備）	3	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	ﾊﾞｻﾞｰ、DCｺﾝｻｰﾄ･港南ﾈｯﾄ祭り)･ﾃﾞｲｹｱ作品展(含む、準備)	24	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	かき氷大会･すいか割り(含む準備)	3	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	施設見学（含む準備）	6	地域の通所施設等を見学し、デイケア退所後の通所先のイメージをもつ。
	小　計	52	
その他	パソコン	48	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	書　道	10	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶　道	9	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華　道	9	外部講師の指導により、お花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエンテーション	1	新入所者に対し、メンバーがデイケアの説明を行う。
	アロマテラピー	1	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	18	花や野菜などの植物を育てることで季節を得ながら、達成感を得る。
	メークアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	6	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	英会話	10	外部講師の指導により、英会話について学ぶ。
	スモールグループ	141	大人数のプログラムが苦手な方が､小人数で落ち着いた環境で課題に取り組むことを目的とする。
	個別活動	17	自身の疾患について理解を深めるために個々で学習する。
	小　計	271	
合　計		1,037	

イ　リワークデイ・ケア

㈠　月別参加者数

（単位：人）

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数	9	9	9	8	7	10	9	11	10	11	11	17	121	10
参加者延数	145	66	88	74	84	85	103	105	137	147	178	240	1,452	121
参加者一日平均	9	5	5	4	5	6	6	7	10	10	11	13	91	8
実施回数	17	13	18	17	17	15	16	16	14	15	16	18	192	16

㈡　疾患別参加者数

（単位：人）

病名	人数
うつ病	14
反復性うつ病性障害	8
双極性感情障害	7
持続性気分障害	2
適応障害	3
その他	3
計	37

㈢　終了者の転帰

（単位：人）

転帰	人数
復職	11
転職	3
再就職	1
求職	2
中断	3
その他	2
計	22

ウ　依存症デイ・ケア

㈠　SMARPP

（単位：人）

月　別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		9	10	9	10	10	9	10	10	10	10	11	11	119	9.9
（うち医療観察者法通院者）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
延数	参加者延数	19	12	26	18	21	23	29	17	23	17	23	23	251	20.9
	（うち医療観察者法通院者）	4	3	5	4	4	4	4	3	4	4	4	5	48	4.0
平均	参加者一日平均	4.8	4.0	5.2	4.5	5.3	5.8	7.3	5.7	5.8	4.3	5.8	4.6	63	5.2
実施日数		4	3	5	4	4	4	4	3	4	4	4	5	48	4.0

㈠ SARPP

（単位：人）

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		10	14	16	20	18	13	7	9	8	4	7	8	134	11.2
（うち医療観察者法通院者）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
延数	参加者延数	11	21	26	40	22	16	24	20	11	11	14	26	242	20.2
	（うち医療観察者法通院者）	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	5	51	4.3
平均	参加者一日平均	2.2	5.3	6.5	8.0	5.5	4.0	4.8	5.0	2.8	2.8	4.7	5.2	57	4.7
実施日数		5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	5	51	4.3

㈡ mini-scop

月別		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		3	4	4	5	5	5	26	4.3
（うち医療観察者法通院者）		0	0	0	0	0	0	0	0.0
延数	参加者延数	6	16	14	9	21	10	76	12.7
	（うち医療観察者法通院者）	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均	参加者一日平均	3.0	4.0	3.5	4.5	4.2	3.3	23	3.8
実施日数		2	4	4	2	5	3	20	3.3

エ　教　　育

（単位：人）

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	その他	合　計
研　修	32	2	6	0	40
見　学	105	49	17	3	174

オ　転　　帰

（単位：人）H28. 3. 31現在

転帰／性別	就労	就労移行支援	就労継続支援	支援センター等	就学	家庭内適応	転院等	入院	不適応	死亡	中断	その他	DC延長	6ヶ月未満	計
男	4	2	3	4	0	1	2	1	5	0	5	0	71	19	117
女	3	1	2	2	1	1	4	3	0	0	7	1	43	19	87
計	7	3	5	6	1	2	6	4	5	0	12	1	114	38	204

カ　個別支援

a　相談件数

（単位：人）

手段	本人	家族	退所者	その他関係機関
電話	232	39	9	118
面接	916	50	2	71
見学	−	−	−	161

b　訪問件数

（単位：人）

職場、福祉施設など	9

c　カンファレンス（医療観察法含む）

科　内	科　外
2.553	115

キ　家族会

開　催　月	テ　ー　マ	開催数	参加者数
５－７月	家族面談	２回	30名
８月	デイケアコンサート	１回	4名
10－11月	家族面談	２回	30名
11月	福祉講座「就労準備について」	１回	1名
２月	福祉講座「就労準備について」	１回	8名
合　　計		７回	73名

⑷　検査業務

ア　心理業務

心理科には常勤６名、非常勤２名、計８名の心理士が在籍しており、うち２名は医療観察法病棟、１名は思春期病棟に専従で配属、１名はrTMS研究補助を担当、２名は依存症病棟に配属されている。

主な業務は心理検査、心理療法（集団精神療法、個別面接等）、医療観察法業務である。心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補う目的や、パーソナリティの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施している。心理療法は外来ならびに入院患者を対象とし、一対一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的ケアを提供するものである。主治医から依頼のあった患者に対し契約を結び、必要に応じて主治医との連携をとりつつ継続的な関わりを持った。診断は統合失調症、うつ状態、人格障害などであった。集団療法は、基本的に多職種と協力し、疾病教育等を中心に実施した。

専門病棟については以下の通りである。

依存症病棟では、病棟SCOP（今年度10月より外来に移行）、木曜会、せりがや講座（心理担当分）のプログラムを担当した。これまで病棟SCOPの導入を検討するために導入していた心理検査（WAIS-Ⅲ短縮版、バウムテスト、Y-Gテスト）については、SCOPが外来に移行したことに伴い、平成28年３月で一旦終了となった。その後は必要時に主治医の判断によって心理検査を導入する形となっている。

ストレスケア病棟では、心理検査ならびに心理面接、心理療法（看護スタッフが行うCBTプログラム、SSTプログラムの補助）を実施した。また病棟におけるカンファレンスにも参加し、協働を図った。他に、臨床研究（rTMS、鍼灸）入院において、心理検査を実施した。

思春期病棟では、他職種と協力しながら各種プログラムを企画運営し、必要時に心理検査等を実施した他、病棟カンファレンス等にも参加した。

医療観察法病棟においては、各種プログラムの企画運営、心理検査・心理面接の実施、対象者の外出・外泊への付き添い、MDT会議、CPA会議、治療評価会議等多職種チームの会議等に参加した。

外来においては、10月より外来に移行したSCOP及びリワークプログラムを他職種とともに実施。SCOPでは導入前後の心理検査及びプログラムの運営を、リワークプログラムでは多職種で運営についての検討を重ね、協力してプログラム･各種面接を実施した。認知行動療法（集団精神療法）、テーマトークを担当し、必要に応じて心理検査等を行った。

㈠　心理検査（平成27年度）

検　査　名		外来（リワーク含）	入院（医観法含）	臨床研究（rTMS・鍼灸）	計
知能検査	WAIS-Ⅲ	56	260	10	326
	WISC-Ⅳ	10	24	0	34
	田中ビネー	0	0	0	0
	コース立方体	0	0	0	0
人格検査	ロールシャッハ人格診断検査	40	90	0	130
	SCT文章完成法	137	109	0	246
	描画検査（バウムテスト等）	50	262	0	312
	P-Fスタディ	33	30	0	63
	Y-G	2	16	0	18
	その他の人格検査	3	23	0	26
その他の心理検査	ベンダーゲシュタルトテスト	0	0	0	0
	内田クレペリン検査	0	0	0	0
	MMSE、HDS-R	16	112	0	128
	COGNISTAT	5	14	0	19
	WMS-R	0	0	0	0
	HAM-D	0	0	180	180
	BDI	0	0	207	207
	STAI	0	0	207	207
	SCID	0	0	10	10
	AQ	0	0	10	10
	CES-D	0	139	0	139
	Word　Fluency	0	0	48	48
	WSCT	0	0	37	37
	TMT	0	0	37	37
	Color Strope	0	0	37	37
	その他	0	5	252	257
計 （実人数）		352 95	1084 357	696 32	2132 484

㈡　心理療法（平成27年度）

	外来（リワーク除）	入　院	リワーク	依存症	医療観察法病棟
心理面接等	556（31）	80（6）	－	－	994（24）
集団プログラム等	0	182	75	68	94

※計欄（　）は実人数を示す。
※2 外来移行後分含む。

㈢　その他（平成27年度）

リワーク・プログラム　DCとの合同のプログラムの実施	75
リワーク・プログラム　インテーク・復職準備評価面接の実施	72
医療観察法（入院病棟）多職種チーム会議への参加	485
医療観察法（通院処遇）多職種チーム会議への参加	36
医療観察法（通院処遇）ケア会議への参加	17

イ　放射線業務

一般撮影は、平成26年12月にパノラマ撮影装置が導入され、頭部の撮影件数増に繋がりました。総件数でも入院数の増加により対前年度比130%と増加しました。

CT撮影は、マルチスライスCTになったことにより、頭部以外の胸部・腹部・椎骨・四肢骨・その他の骨の件数が増加し、また、入院の増加に伴い対前年度比118%と増加しました。

PDI（Portable Data for Imaging、医用画像情報を含んだ可搬型媒体）について、今年度より集計を開始しました。

㈠ 一般撮影業務件数（人数及び撮影回数）

部位 / 月	頭部				胸部				腹部				椎骨				四肢骨				その他				合計			
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数	
	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室
H27.4		2		2	6	76	6	101	3	67	3	80						1		2					9	146	9	185
5		5		5	5	76	5	89	2	70	2	82						2		4					7	153	7	180
6		1		1	20	98	20	121	5	85	5	96		2		4		3		5					25	189	25	227
7		4		4	20	86	20	104	11	82	11	97		1		2		7		27		1		1	31	181	31	235
8		4		4	15	68	15	83	11	69	11	87		1		2		3		8		1		2	26	146	26	186
9		2		2	7	98	7	123	8	84	8	109		1		2		5		12	1		2		16	190	17	248
10		2		2	15	87	15	107	16	77	16	96		1		4	3	3	6	11	2		3		36	170	40	220
11		3		6	15	68	15	84	10	61	10	86		1		2		2		4		1		2	25	136	25	184
12		2		2	16	107	16	127	10	112	10	153						3		8		4		9	26	228	26	299
H28.1		1		2	13	90	13	111	8	82	8	114		2		4		2		4	1	3	1	8	22	180	22	243
2		3		3	10	106	10	129	6	100	6	131					1	2	2	6		1		2	17	212	18	271
3		5		5	6	85	6	101	5	89	5	121		4		8		5		14	1	2	2	3	12	190	13	252
合計	0	34	0	38	148	1,045	148	1,280	95	978	95	1,252	0	13	0	28	4	38	8	105	5	13	8	27	252	2,121	259	2,730
構成比(%)	0.0	1.4	0.0	1.3	6.2	44.0	5.0	42.8	4.0	41.2	3.2	41.9	0.0	0.5	0.0	0.9	0.2	1.6	0.3	3.5	0.2	0.5	0.3	0.9	10.6	89.4	8.7	91.3

㈡ CT検査業務件数

月 \ 部位	頭部	胸部	腹部	椎骨	四肢骨	その他	合計
H27. 4	77	5	4	1	1	1	89
5	75	2	2				79
6	94	8	3				105
7	81	10	11		1	2	105
8	76	4	8				88
9	78	5	5	1			89
10	80	2	2	1			85
11	69	3	2				74
12	94	9	6				109
H28. 1	83	8	4	1			96
2	102	5	8				115
3	79	10	6	1	1		97
合　計	988	71	61	5	3	3	1,131
構成比（%）	87.4	6.3	5.4	0.4	0.3	0.3	100.0

㈠ PDI依頼件数

月＼種別	Export	Inport	合　計
H27. 4	5		5
5	2		2
6	8		8
7	5	1	6
8	5		5
9	7		7
10	8		8
11	8	3	11
12	11	2	13
H27. 1	5		5
2	3		3
3	10		10
合　計	77	6	83

㈡ 一般撮影業務件数推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	前年度比(%)
延べ人数	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	1,725	1,732	1,806	1,834	2,373	129.4
延べ回数	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	2,070	2,081	2,204	2,251	2,989	132.8

㈢ CT検査業務件数推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	前年度比(%)
延べ人数	836	999	809	937	968	886	942	975	964	958	1,131	118.1

ウ　臨床検査業務

	院内処理件数		委託処理件数		合　計	
	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度
一　般　検　査	17,063	12,448	133	3,156	17,196	15,604
血　液　検　査	10,473	6,636	21,456	21,116	31,929	27,752
生　化　学　的　検　査	21,265	15,330	74,513	66,185	95,778	81,515
内　分　泌　学　的　検　査	0	0	2,979	2,562	2,979	2,562
免　疫　学　的　検　査	431	353	5,328	4,681	5,759	5,034
病　理　学　的　検　査	0	0	3	2	3	2
微　生　物　学　的　検　査	0	0	290	194	290	194
生　理　機　能　検　査	1,530	1,421	0	0	1,530	1,421
計	50,762	36,188	104,702	97,896	155,464	134,084

⑸ 福祉医療相談科業務

福祉医療相談科は、ソーシャルワーカー13名（常勤12、非常勤１）事務担当１名の計14名で構成されている。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族との信頼関係作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

平成26年４月の精神保健福祉法の一部改正により、医療保護入院者の退院支援の役割を果たすために、退院後生活環境相談員として入院の時点からご本人及びご家族に対し、相談支援を行っている。また、医療保護入院継続の妥当性を図るための「医療保護入院者退院支援委員会」を平成27年度は50件開催した。

救急医療については平成15年度に26床の救急病棟として整備され、現在は5A・5B病棟に引き継がれて70床となり、そのうち16床が神奈川県の基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴う平成20年３月にA1（認知症病棟）とC1（一般開放病棟）が閉棟した時期の取組みを第１期、平成22～23年度のC2、C3病棟合併に伴う取り組みを第２期として進めてきたが、新病院となり更なる取組みを検討している。

平成17年度から施行された医療観察法の指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療、H21年度に小規格病棟から開始して平成24年度からフル規格病棟での入院医療を受け入れている。医療観察法病棟には３名のソーシャルワーカーを配置して対応している。（エで再掲）。

平成20年４月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟を開棟しているが、病棟担当者（兼任）はリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして参加している。

依存症担当ソーシャルワーカーは病棟チームへの参加と共に、外来集団精神療法SMARPP12、新プログラムSCOPへ他職種チームの一員として参加し、また依存症ショートケアで行っているSARPPプログラムや薬物家族会のファシリテーターの役割を担当している。

思春期病棟は新病院と共に新たに開棟し、担当ソーシャルワーカーは受診相談から家族相談などに対応している。今年度は他職種と共に地域の児童相談所等の関係機関への訪問や県の児童相談所との連絡会を開催するなど連携を密にした。

権利擁護の視点からは抗告、処遇改善や退院請求への迅速な個別対応を行っている。また医療や経済、家族間の法律的な問題への新たなる窓口として、H23年５月からモデル事業として開始した横浜弁護士会による法律相談会は、本事業として今年度も月に１回の定例で開催した（オで再掲）。

地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加を強化している。依存症分野では寿アルク、横浜マック、横浜ダルクの運営協議会に参加している。平成26年度より依存症治療拠点機関に指定され、依存症治療支援コーディネーターの役割を担うと同時に、研修会や普及啓発活動を行っている。

また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催、および全国医療観察法指定入院医療機関PSW連絡協議会に参加して連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

その他、メディエーター活動や、かながわDPAT研修への参加など、ソーシャルワーカーの担う役割は更に広がってきている。

ア　ソーシャルワーク業務（平成27年４月～平成28年３月）

㈠　内容別相談件数

内　　容	平　成　27　年　度				平成26年度計
	外　来	入　院	受診相談	計	
受診相談	822	263	1,669	2,754	
入院援助	552	1.031	872	2,455	
退院援助	244	4,173	15	4,432	
心理的情緒的援助	922	1,328	23	2,273	
経済問題援助	425	1,911	12	2,348	
福祉制度利用援助	1,203	3,167	36	4,406	
家族問題援助	527	1,211	54	1,792	
住宅問題援助	183	722	3	908	
就労問題援助	236	145	79	460	
教育問題援助	58	125	8	191	
権利擁護	22	328	1	351	
退院請求・処遇改善請求	9	239	0	248	
他医療機関との調整	605	918	142	1,665	
依存症	1,758	677	341	2,776	
医療観察	269	1,801	3	2,073	
ストレス	257	142	456	855	
思春期	149	455	218	822	
その他	825	863	139	1,827	
計	9,066	19,499	4,071	32,636	25,278

㈡　実施方法別相談件数

内　　容	平　成　27　年　度				平成26年度計
	外　来	入　院	受診相談	計	
面接	1,887	7,448	174	9,509	
電話	5,740	9,644	3,822	19,206	
外出	68	331	1	400	
訪問	21	47	0	68	
ケア会議	297	1,085	3	1,385	
グループワーク	756	81	0	837	
書類	109	491	22	622	
その他	188	372	49	609	
計	9,066	19,499	4,071	32,636	25,278

イ　地域連絡会議

県立病院地域医療連携連絡会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
第１回県立病院地域医療連携担当者会議	県立精神医療センター	平成27年５月22日
第２回県立病院地域医療連携担当者会議	県立がんセンター	平成27年９月25日
第３回県立病院地域医療連携担当者会議	県立循環器呼吸器病センター	平成27年11月27日
県立病院地域医療連携連絡会議	県立こども医療センター	平成28年２月12日

精神保健福祉担当者会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
精神保健福祉業務連絡会	港南区役所	平成27年12月８日

港南区地域生活支援会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
平成27年度第１回港南区自立支援協議会	港南区社会福祉協議会	平成27年６月15日
平成28年度の自立支援協議会の活動内容を考える意見交換会	港南区社会福祉協議会	平成28年２月25日

港南ネット会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
平成27年度　第１回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成27年５月８日
第２回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成27年７月10日
第６回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成28年３月11日

戸塚区連絡会

会　議　名	場　　所	実　施　日
平成27年度　戸塚区精神保健福祉業務連絡会	戸塚区役所	平成27年12 月15日

子どものこころの診察ネットワーク事業

会　議　名	場　　所	実　施　日
第４回神奈川県地域児童青年期精神科入院医療の連携を考える会	ウィリング横浜	平成28年２月13日

ウ　協議会、見学会、研修受け入れ、講師派遣等

協議会等

内　　容	場　　所	参　加　日
精神科特別部会コメディカル部会 第10回関東ブロックコメディカル会議	東京都立松沢病院	平成28年２月24日

見学会・意見交換会

内　　容	場　　所	参　加　日
横浜地方裁判所裁判官医療観察法病棟見学会及び意見交換会	神奈川県立精神医療センター	平成27年４月20日
		平成27年６月11日
	横浜地方裁判所	平成28年２月16日

実習受入れ

依　頼　校	人　数	実　施　日
聖徳大学	1　名	平成27年12月１日～12月17日

現任者の視察・研修受入れ

内　容	人　数	実　施　日
横浜市新任・新採用医療ソーシャルワーカー等研修	17名	平成27年７月１日
社会復帰調整官実務実習	2名	平成27年７月21日～７月24日
神奈川県精神保健福祉新任研修	4名	平成27年７月23日
薬物依存症家族教室見学	1名	平成27年８月３日
港南区役所人事啓発指導員研修Ｈグループ	8名	平成27年10月14日
神奈川県医療社会事業協会新人研修	6名	平成28年１月13日
精神科救急関東ブロック連絡協議会における 当院見学受け入れについて	30名	平成28年２月５日
精神科救急医療情報窓口常勤職員研修における 病院研修	17名	平成28年３月１日
横浜保護観察所及び港南地区保護司会	9名	平成28年３月16日

講師派遣

内　容	場　所	実 施 日
精神保健福祉講座家族教室	港南中央地域ケアプラザ	平成27年５月18日
覚せい剤事犯者処遇プログラム	横浜保護観察所	平成27年５月25日 平成28年１月６日
薬物依存症家族教室	横浜市こころの健康相談センター	平成27年６月12日
薬物依存対象者の引受人等会	横浜保護観察所	平成27年７月29日
精神科特別部会コメディカル部会理事会	ホテル日航ノースランド帯広	平成27年８月26日～８月27日
医療観察法指定入院医療機関従事者研修	国立精神・神経医療研究センター	平成27年９月11日
医療観察法指定通院医療機関従事者研修	国立精神・神経医療研究センター	平成27年10月９日
横浜市医療観察法研修会	横浜市研修センター	平成27年10月22日
第17回ふれあい一泊研修会	障害者研修保養センター 横浜あゆみ荘	平成27年11月21日
全国精神医療審査会連絡協議会横浜シンポジウム	開港記念会館	平成27年11月21日
医療観察法医療従事者上級研修会	国立精神・神経医療研究センター	平成27年12月４日～12月５日
上智大学人間科学部講義	上智大学	平成28年１月14日
第１回　病院と訪看の連携を考える会	金沢文庫エールクリニック	平成28年１月15日
県立高等学校生活指導担当教諭と多摩区保護司会の 情報交換会	多摩区役所	平成28年１月20日
精神科救急情報センター関東ブロック連絡協議会	神奈川県精神保健福祉センター	平成28年２月５日
萩野地区青少年健全育成会・萩野中学校区PTA連絡協議会	厚木市立萩野公民館	平成28年２月20日
精神科特別部会コメディカル部会理事会	剛堂会館	平成28年３月４日

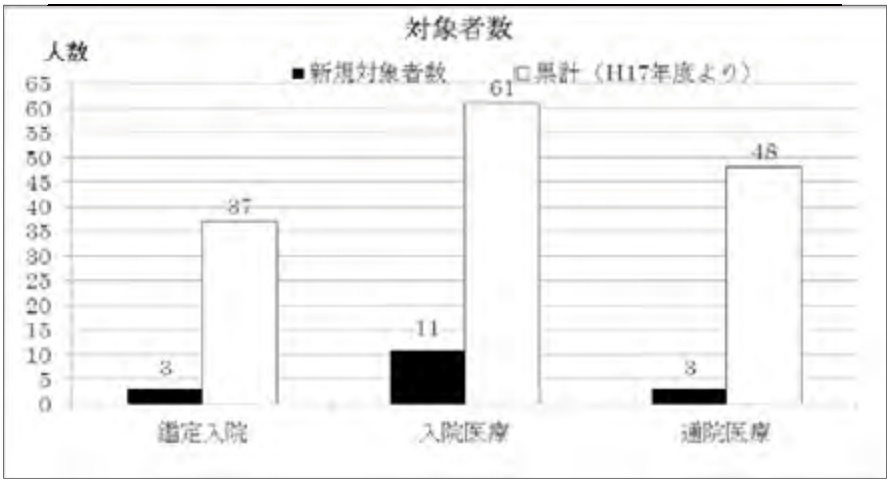
薬物乱用防止教室講師派遣

学　校・団　体	人　　数	実　施　日
海老名市立有馬中学校	231名	平成27年６月26日
神奈川県立金井高等学校	363名	平成27年11月17日
逗子市立沼間中学校	93名	平成28年２月17日
海老名市立今泉中学校	183名	平成28年２月26日
海老名市立柏ケ谷中学校	261名	平成28年３月23日

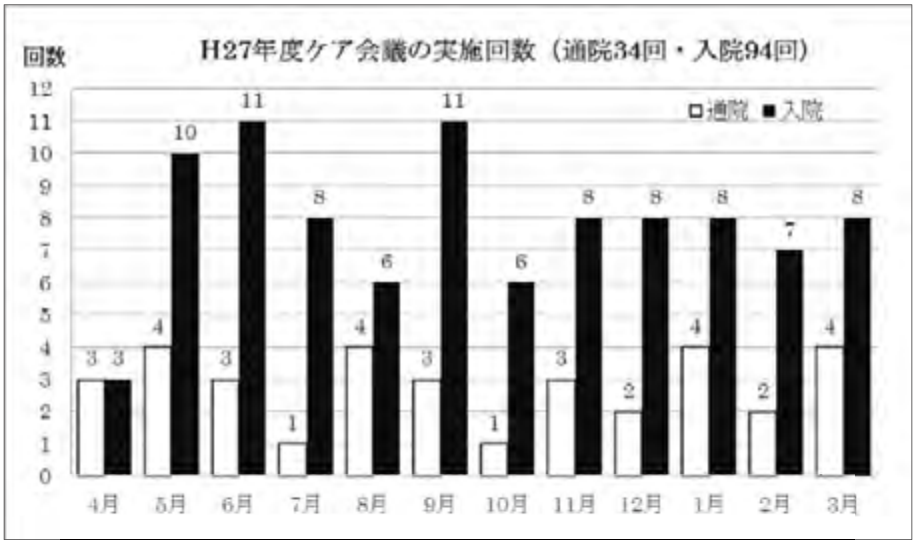
エ　医療観察制度の取組み

H17年７月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行うとされている。当院では鑑定入院ならびに医療観察法病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれ他職種チーム（MDT）を編成して提供している。入院医療では週に１回の治療評価会議と通宜開催のMDT会議をベースに、通院医療では月に１回のMDT会議をベースにして、３ヶ月に１回程度のケア会議の中で処遇方針を協議して実施している医療観察法運営会議を月に１回開催している。福祉医療相談科に統括の医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。入院病棟においては３名の担当者を配置しMDTメンバーとして関わっている。H22年度からは事務担当が１名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール管理など､マネジメント機能が飛躍的に充実強化されている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）、横浜地方裁判所裁判官の医療観察病棟の見学及び意見交換会を実施している。精神・神経科学振興財団主催の指定医療機関従事者研修の講師も継続して担当している。

対象者



ケア会議の実施回数



連絡会

内　　容	開催場所	実　施　日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	曽我病院 北里大学東病院 秦野病院 横浜保護観察所	平成27年４月17日 平成27年７月17日 平成27年10月16日 平成28年１月22日
神奈川県モデル活動研究会	横浜保護観察所	平成27年６月12日 平成28年２月19日

講師派遣（再掲）

内　　容	開催場所	実　施　日
医療観察法指定入院医療機関従事者研修	国立精神・神経医療研究センター	平成27年９月11日
医療観察法指定通院医療機関従事者研修	国立精神・神経医療研究センター	平成27年10月９日
横浜市医療観察法研修会	横浜市研修センター	平成27年10月22日
医療観察法医療従事者上級研修会	国立精神・神経医療研究センター	平成27年12月４日～12月５日

オ　横浜弁護士会による法律相談会

精神科医療受ける上で生じる権利擁護やさまざまな法律に関わる問題（借金、家族関係など）について、迅速かつ適切な相談および対応方法の提供を行ってきた。H24年度に開棟したフル規格の医療観察法入院病棟における権利擁護支援の一環として位置づけるためにも、法律の専門家である弁護士の相談を定期的に開催し密な連携を図っていくことを目的として、H23年度のモデル期間を経て、月に１回（第３木曜日）の横浜弁護士会による法律相談会を継続開催している。対象者は救急、ストレス、一般病棟の入院患者として、事前にポスターにて周知後に担当PSWが申込み時の面接を行ない窓口弁護士との調整をはかった上で、希望者の人数により２人の弁護士に対応してもらった。当院の取組みについて全国精神医療審議会医療協議会において高く評価を受け、シンポジウムに招聘され報告した。

実績

回　数	月　日	利用者数	キャンセル
第１回	4／16	４名	１名
第２回	5／21	２名	１名
第３回	6／18	１名	
第４回	7／16	１名	
第５回	8／20	４名	
第６回	9／17	１名	２名
第７回	10／15	２名	
第８回	11／19	３名	３名
第９回	12／17	０名	
第10回	1／21	１名	
第11回	2／18	２名	１名
第12回	3／17	１名	１名

カ　訪問看護業務

訪問看護は、H26年12月の新棟移転に伴い、社会復帰支援部訪問看護科として独立し、新たに科長を含めた５名の看護師で、他部門と連携を取りながら訪問看護に従事している。訪問看護利用の登録者は医療観察法対象の患者を含め120名を超え、年間2,200件余りの訪問看護を実施している。

訪問看護の役割は病状の見守り、生活支援と共に病状悪化時の対応、医師及び多職種によるチーム医療判断など対象に応じた多様な関わりとスピーディな対応が求められている。

また入院早期より対象者との関係構築に努め、病棟スタッフおよび多職種と協働し、スムーズな地域移行を視野に入れた支援計画を立て実践している。

病院の方針として、増加する医療観察法通院処遇患者や困難事例に特化した方向を示されているため、訪問看護長期利用者や見守り中心の利用者に関しては、地域の訪問看護ステーションの協力を得て移行に努めている。しかし長期利用になるほど信頼関係も確立しており、移行に難色を示す事も多い。利用者のペースに合わせ当訪問看護と地域とが連携して訪問するなど、利用者に安心感を与えられる工夫をしている。また地域の訪問看護ステーションに依頼され、訪問看護の現状についての学習会を行い、地域の抱えている問題を共有することができた。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、生活支援センター職員、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。カンファレンスの場所も院内だけでなく、地域へ出向くケースも増えている。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性と実際を学ぶ場を提供している。また、県や市の職員の新人研修にも組み込み、必要性と協力を依頼している。

交通手段としては４台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が１年毎の更新となり、総務課と協力し許可証を取得している。訪問先は当院近隣の他、泉区、港北区、川崎市、横須賀市、藤沢市、逗子市、鎌倉市と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

１）　平成16年度から平成27年度までの年間訪問看護件数

年　度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
件　数	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966	3,004	2,969	2,592	2,235	2,237

２）　平成27年度　月別訪問看護件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
訪問件数	183	174	184	201	180	188	188	184	182	173	184	216	2,237
対 象 者	118	122	122	122	122	124	119	120	119	113	119	125	1,445
ＣＦ件数	15	11	15	14	14	14	16	13	12	16	12	14	166

３）　平成27年度　診療報酬別訪問件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	年間件数
訪　問　Ⅰ	169	162	172	191	170	176	176	172	172	165	174	206	2,105
訪　問　Ⅲ	14	12	12	12	10	12	12	12	10	8	10	10	132
退院前訪問	9	2	1	4	1	1	1	1	2	7	1	2	32
合　計	192	176	185	205	181	189	189	185	184	180	185	218	2,269

4） 平成27年度　月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
0	1	0	0	2	1	4	0	0	3	4	5	20

5） 平成27年度　病棟別新規申し込み件数

外来		3B	4A	5A	5B	2A	3A	合　計	
一般	医観							一般	医観
7	2	2	0	2	2	0	5	18	2

6） 平成27年度　終了ケース

目標達成	施設利用	転院	長期入院	中断・拒絶	死亡	その他 （地域移行含む）	合計
3	2	1	1	1	3	4	15

7） 平成27年度　疾患別分類

疾患名	統合失調症（他疾患の合併含む）	中毒性精神障害（薬物・アルコール含む）	躁　鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病（老年期含む）	その他	合　計
件　数	104	4	6	0	4	1	0	2	4	125

8） 平成27年度　地域別分類 （H28. 3月現在）

横浜市

地域	港南区	南　区	磯子区	戸塚区	中　区	泉　区	保土ヶ谷区	栄　区	緑　区	神奈川区
件数	40	25	3	20	2	2	6	5	0	2
地域	金沢区	西　区	港北区	旭　区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合　計		
件数	5	2	2	1	2	1	0	118		

県域

地　域	川崎市	横須賀市	逗子市	藤沢市	鎌倉市	合　計
人　数	2	2	1	1	1	6

9） 年齢別区分 （H28. 3月現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合　計
0	3	9	47	32	28	5	1	125

10） 平成27年度　男女・住居別区分

	男性	女性
単身生活	39	24
家族同居	27	26
施設入所（GH含）	5	4
合　計	71	54

(6) 薬剤業務

調剤業務では、年間処方せん枚数は入院63,349枚で一日平均260.7枚、外来37,161枚（うち院外処方せんは35,292枚、院内処方せんは1,869枚で、発行率は95.0％）で院内処方の一日平均7.7枚である。平成25年10月１日より、外来処方せんは原則院外としたため院外処方せんの発行が増加した。年間調剤数は入院179,954件、外来11,545件、合計191,499件、一日平均調剤数は788.1件であった。

薬剤情報提供業務(外来)は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年６月からは外来患者さん全員を対象に毎回行っている。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月１回のみ算定しており、薬剤情報提供（外来･院内処方）は980件であった。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ127人、指導回数延べ488回実施した。

製剤業務では、製剤品目９品目で、そのうち錠剤の散剤化製剤は５品目（5,030錠）調製し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続いて調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」は平成26年12月から電子カルテ上のソフト「ファントルくん」に入力することとなり、平成27年度の報告件数は、レベル０が31件、レベル２が６件、計37件であった。

薬品管理業務では、購入薬品数は680品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、85.6％、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、14.4％であった。

調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、４回開催した。新規採用医薬品10品目、緊急購入医薬品72品目、削除医薬品44品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を13回発行した。

入院教育プログラムにおいて、定期的に集団指導を行った。

A　平成27年度調剤数

区　分	処方せん枚数	剤　数	延べ剤数	1 日 平 均	
				剤　数	延べ剤数
入　院	63,349 枚	179,954 件	947,017 剤	740.6 件	3,897.2 剤
外　来	1,869	11,545	230,614	47.5	949.0
計	65,218	191,499	1,177,631	788.1	4,846.2

B　平成27年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
6,299 枚	9,654 本	3,648 本	13,302 本

C　平成27年度製剤数

内 服 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠剤の粉砕
	非滅菌製剤	滅 菌 製 剤		
3,561 g	3,500 ml	0 ml	0 g	5,030 錠

D　平成27年度剤型別薬品購入額

剤型	品目数	%	購入額	%
注射	80 品	11.8 %	53,358,005 円	32.1 %
内服	525	77.2	111,638,653	67.1
外用	70	10.3	1,232,503	0.7
消毒液	5	0.7	42,916	0.0
計	680	100.0	166,272,077	100.0

E　平成27年度薬効別薬品購入額

薬効	品目数	%	購入額	%
精神神経用剤	183 品	26.9 %	131,575,457 円	79.1 %
抗てんかん剤	29	4.3	4,847,252	2.9
抗パーキンソン剤	12	1.8	744,854	0.5
睡眠鎮静剤・抗不安剤	63	9.3	5,169,139	3.1
循環器官用薬	47	6.9	1,866,560	1.1
消化器官用薬	62	9.1	7,600,349	4.6
その他の薬剤	284	41.7	14,468,466	8.7
計	680	100.0	166,272,077	100.0

(7) 医療教育

ア　臨床研修医受入状況

管理型病院名＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院						1				1	1	
厚木市立病院											1	
国際親善総合病院			1									
横浜労災病院			1	1	1	1	1	1	1	1		

平成27年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。（単位：人）

イ　研修受け入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	84人	火曜日（見学実習） 概ね３週に一回

(8) 栄養管理科業務

栄養管理科では、美味しい、安全、安心な食事提供を日常の業務目標としている。

さらに精神科医療の中で患者の個別性を十分に踏まえた栄養管理の実践および食生活の自立支援に結びつく患者教育・支援を目指している。

NST・栄養管理検討部会においては、低栄養改善、生活習慣病予防のほか誤嚥・窒息予防などを中心に取り組んだ。月例の病棟カンファレンスにおいて栄養管理上の問題点、課題などの解決に向けた提案をしてきた。結果は項目イに表記した。

平成27年度は栄養管理の質の向上を目的として電子カルテ、部門システムの運用の見直しと運用ルールの周知を改めて行った。異物混入、誤配膳などのリスクマネージメントは、日常のミーティング、科内会議において継続して対策を行った。

患者食糧費の適正活用には、前年度に継続して取り組み、食材の納入業者選定方法を検討し、食事の質を落とさずに経営改善に努めることができた。

平成27年度は、維持管理を目的として厨房設備の活用方法、日常手入れなどの習得の学習会を数回開催した。

ア　給食実施状況

入院給食数は、平成26年度に芹香病院、せりがや病院が年度途中で業務統合したため、単純比較はできないが、平成27年度は、入院患者数が増加したことに伴い、二病院を合算した前年度食数よりも全体の食数が増えている状況である。

提供食内訳は、きざみとろみ食などの形態調整食が減り、糖尿病食、脂質異常症食などの特別食が増加している傾向がみられている。新規入院患者の増加に伴い、生活習慣病発症あるいはリスクを有する患者が増加していることが推察される。

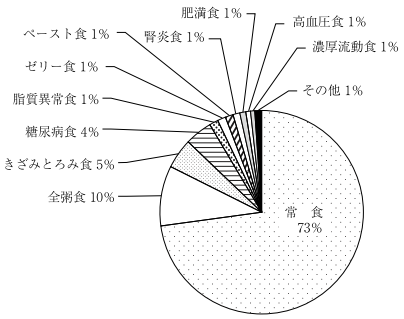
区分＼年度			27年度	26年度	
			精神医療センター	芹香病院・精神医療センター※1	せりがや病院※2
一般食	常食		211,124	171,953	16,106
	軟流動食	全粥食	27,669	17,151	1,587
		分粥食	963	182	54
		流動食	25	3	27
		きざみとろみ食	13,809	16,498	0
		ミキサー食	78	416	0
		ペースト食	3,621	4,642	0
		ゼリー食	3,799	3,053	0
		小計	49,964	41,945	1,668
	計		261,088	213,898	17,774
特別食	加算	腎炎食	3,183	2,531	173
		心臓病食	324	386	41
		肝臓病食	458	469	268
		糖尿病食	12,567	7,712	1,733
		膵臓病食	549	0	0
		潰瘍食	215	373	0
		貧血食	137	0	0
		脂質代謝異常症	4,057	1,781	0
		非加算	338	535	0
		小計	21,828	13,787	2,215
	非加算	肥満食	2,396	2,398	0
		高血圧食	2,203	1,225	168
		貧血食	0	0	0
		濃厚流動食	1,931	1,621	0
		検査食	327	205	0
		コメント指示食	65	118	0
		小計	6,922	5,567	168
	計		28,750	19,354	2,383
合計			289,838	233,252	20,157
デイ・ケア			2,896	3,184	0
検食・保存食			2,196	2,190	1,448
職員食（実習生）			0	15,959（40）	6,869
総合計			294,930	254,585	28,474

※職員食（ ）は実習生で内数

※1　平成26年12月より精神医療センター食数

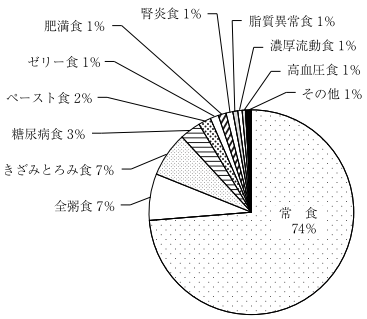
※2　平成26年11月28日をもってせりがや病院廃止

［平成27年度］
精神医療センター



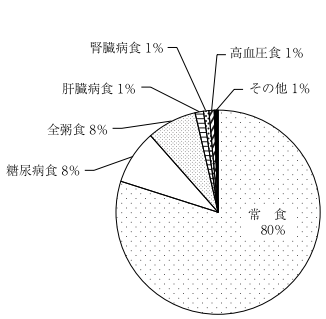
※その他の食種
分粥食，潰瘍食
膵臓病食，貧血食
肝臓病食，ミキサー食
検査食，コメント指示食
心臓病食，流動食

［平成26年度］
芹香病院



※その他の食種
肝臓病食，分粥食
ミキサー食，コメント指示食
心臓病食，流動食
潰瘍食，
検査食，

［平成26年度］
せりがや病院



※その他の食種
分粥食
心臓病食
流動食

イ　栄養管理・NST活動

平成27年度は、新規入院患者が増加したためスクリーニング件数が増加した。病棟におけるカンファレンスも活性化され症例件数が増加した。なお、病棟カンファレンスは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の多職種で実施している。

低栄養状態のみならず、過剰栄養、摂食・嚥下に問題がある入院患者に対する栄養ケアの充実を目指し、給食内容の改善にも着手した。補助食品の活用が効果的に導入されるようになってきている。

区分＼年度	27年度	26年度※	対前年度比（%）
スクリーニング件数（新規入院患者）	1,006	695	144.7
カンファレンス症例件数	595	383	155.4

※26年度は芹香病院の件数

ウ　栄養指導

食生活の課題のある入院患者を抽出し、積極的に栄養指導を実施した結果、栄養指導件数が増加した。外来においては木曜日に栄養相談外来を開設し食事記録シートの確認を行い、食生活改善のアドバイスを実施した。その結果、入院・外来ともに栄養食事指導件数が大幅に増加した。

平成27年度の集団指導は、ストレス外来治療プログラム「リワーク」の一環の集団指導のほか、依存症病棟における集団指導、作業療法プログラムの食生活の自立支援のための集団指導、デイケア通院患者対象の過食防止、窒息防止など精神科特有の視点にたった指導を実施した。

年度	区分＼病院名	入院				外来				合計			
		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
		件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
27	精神医療センター	14	202	137	137	4	35	74	74	18	237	211	211
26	芹香病院	6	46	47	47	3	32	39	39	9	78	86	86
	せりがや病院	7	67	6	7	0	0	11	11	7	67	17	18

エ　その他

実習生の受け入れ指導

神奈川県立保健福祉大学より管理栄養士実習受託、３週間２名の実習を２クール（計４名）実施した。

神奈川県立保健福祉大学大学院生、病院職員、他セクション実習生の講義を実施した。

⑼ 保育業務

平成27年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、医師の幼児を対象とするとともに、保育時間も６時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月１回日曜保育（第３を基本）も実施している。

ア　保育の状況

年　齢	男	女	計	保　護　者　の　所　属
６歳	1	0	1	精神医療センター　1　　こども医療センター　0
５歳	4	2	6	精神医療センター　1　　こども医療センター　5
４歳	3	3	6	精神医療センター　2　　こども医療センター　4
３歳	4	4	8	精神医療センター　1　　こども医療センター　7
２歳	3	5	8	精神医療センター　0　　こども医療センター　8
１歳	4	5	9	精神医療センター　1　　こども医療センター　8
計	19	19	38	精神医療センター　6　　こども医療センター 32

イ　主な行事

月	内　容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式　　プールは～8/31まで実施	〃
9	始園式、クッキング、秋祭り	〃
10	運動会、秋の遠足	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	節分、バレンタインクッキング	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式、お別れ会カレーパーティー	〃

平成27年度　**業　務　年　報**

平成28年11月発行
神奈川県立精神医療センター
横浜市港南区芹が谷２－５－１
TEL　045－822－0241
印刷所　文明堂印刷株式会社　横浜営業所
横浜市南区宿町2-49-2 浜文第２ビル1F
TEL　045－731－1441

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)822-0242